
「こども計画」策定のための 若者アンケート調査 結果報告書

目次

I 調査の趣旨	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の概要	1
3. 本報告書の見方	1
II 集計結果	2
1. 年齢・性別・仕事などの状況について	2
2. 自分自身の気持ちについて	6
3. 外出の状況や居場所について	11
4. 悩みについて	19
5. ヤングケアラーについて	28
6. 子ども・若者への支援について	32
7. 「こどもまんなか社会」への意識について	36
III 自由意見	41
調査票	43

令和6年9月
泉大津市

I 調査の趣旨

1. 調査の目的

本調査は、子ども・子育て環境のさらなる支援の充実を目指す「泉大津市こども計画（第三期いずみおおつ子ども未来プラン）」（令和7～11年度）を策定するに当たり、高校生世代から24歳までの若者本人の生活の現状や意識を把握し、施策の検討に利用することを目的として実施したものです。

2. 調査の概要

①調査地域：市全域

②調査対象者：泉大津市在住の15～24歳の市民

③調査時期：令和6年7～8月

④配布・回収方法：インターネットサイト上にあるアンケートフォームにスマートフォン、パソコンで回答（URLとQRコードが書かれた依頼文書を郵送）

⑤回答数

配布数	回答数	回収率
2,000	146	7.3%

3. 本報告書の見方

1. 設問の中には前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、表中の「合計」が全体より少なくなっています。
2. 設問には1つのみ答えるものと複数回答のものがあり、複数回答の設問では、表記の割合の合計は100%を超えます。
3. 割合は選択肢ごとに小数第1位以下を四捨五入して整数表記しているため、その割合の合計は100%にならないところがあります。

Ⅱ 集計結果

1. 年齢・性別・仕事などの状況について

あなたの性別をお答えください。(1つに○)

【問1】

あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

【問2】

	人数	割合
1. 男	57	39%
2. 女	84	58%
3. その他・答えたくない	5	3%
無回答	0	0%
合計	146	100%

回答者の性別は、「男性」が39%、「女性」が58%と女性が多く、「その他・答えたくない」が3%(5件)ありました。

以降の設問では、回答者の傾向を見るための分類として、15歳から18歳までの回答者を「高校生世代」、19歳以降の回答者を「成人世代」と区分して男女別に集計します。なお、男女の別が不明な5件は総計欄のみに含まれます。

	人数	割合
15歳	13	9%
16歳	16	11%
17歳	11	8%
18歳	12	8%
19歳	17	12%
20歳	9	6%
21歳	24	16%
22歳	13	9%
23歳	23	16%
24歳	8	5%
無回答	0	0%
合計	146	100%

あなたが最後に卒業(中退を含む)した学校をお答えください。在学中の方は、現在在学している学校をお答えください。(1つに○)

【問3】

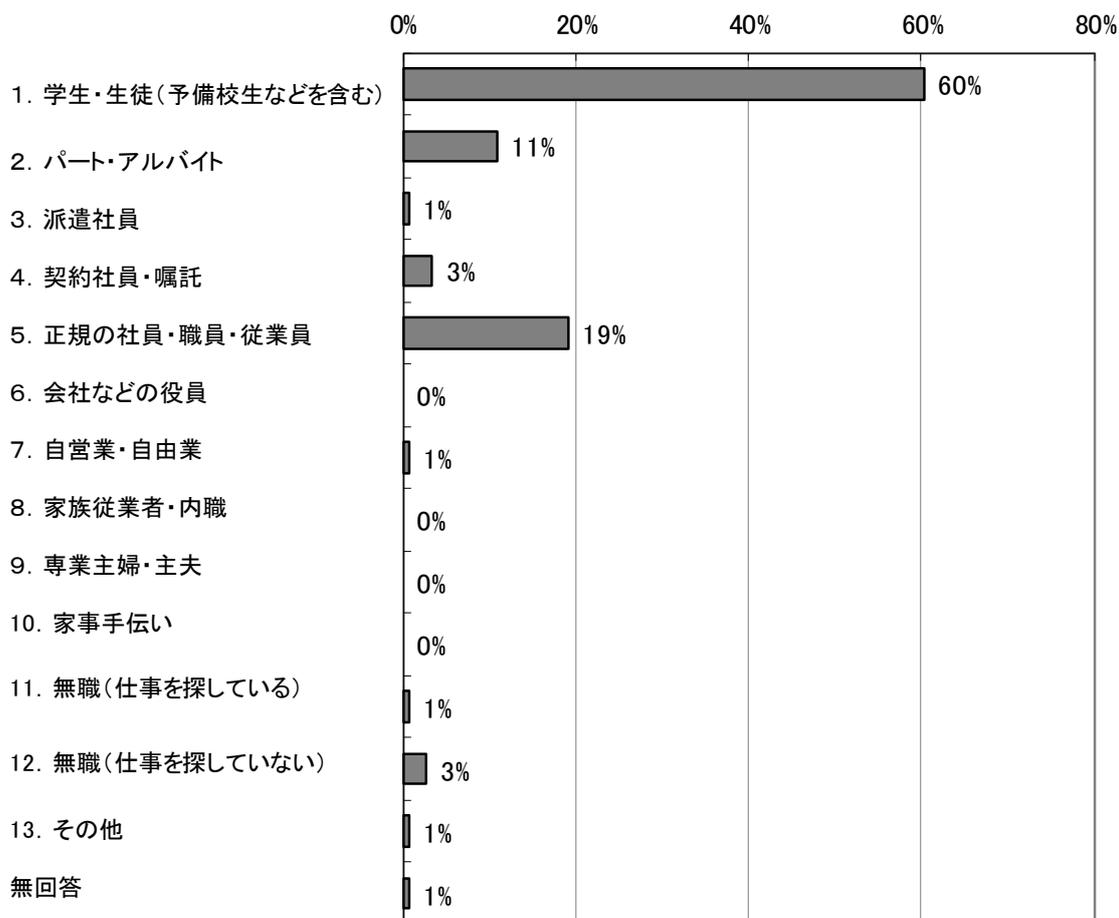
	総計		高校生世代男性		高校生世代女性		成年世代男性		成年世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 中学校	7	5%	2	11%	5	17%	0	0%	0	0%
2. 高等学校	66	45%	16	84%	22	73%	13	34%	11	20%
3. 専門学校	19	13%	0	0%	1	3%	3	8%	15	28%
4. 5年制の高等専門学校	1	1%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%
5. 短期大学	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%
6. 大学	49	34%	1	5%	2	7%	20	53%	25	46%
7. 大学院	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%
8. その他	2	1%	0	0%	0	0%	1	3%	1	2%
9. わからない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

最終学歴については、高校生世代が男女ともに「高等学校」、成人世代は男女ともに「大学」という回答が多くなっています。

あなたの現在の仕事をお答えください。(1つに○)

【問4】

	総計		高校生世代男性		高校生世代女性		成年世代男性		成年世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 学生・生徒（予備校生などを含む）	88	60%	18	95%	29	97%	19	50%	19	35%
2. パート・アルバイト	16	11%	0	0%	1	3%	2	5%	12	22%
3. 派遣社員	1	1%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%
4. 契約社員・嘱託	5	3%	0	0%	0	0%	2	5%	3	6%
5. 正規の社員・職員・従業員	28	19%	0	0%	0	0%	10	26%	17	31%
6. 会社などの役員	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
7. 自営業・自由業	1	1%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%
8. 家族従業者・内職	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
9. 専業主婦・主夫	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
10. 家事手伝い	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
11. 無職（仕事を探している）	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%
12. 無職（仕事を探していない）	4	3%	0	0%	0	0%	2	5%	2	4%
13. その他	1	1%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%
無回答	1	1%	1	5%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%



現在の仕事については、高校生世代男女および成人男性は「学生・生徒（予備校生などを含む）」が最も多く、成人女性は「学生・生徒（予備校生などを含む）」「正規の社員・職員・従業員」がおおよそ3割ずつとなっています。

あなたの現在の婚姻状況をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。(1つに○)

【問5】

	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 未婚	140	96%	19	100%	29	97%	36	95%	51	94%
2. 配偶者あり	5	3%	0	0%	0	0%	2	5%	3	6%
3. 配偶者と死別	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
4. 配偶者と離別(離婚)	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
無回答	1	1%	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

婚姻関係は、「配偶者あり」が5件で、それ以外は「未婚」です。

現在、あなたと同居している方をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。(あてはまる番号すべてに○)

【問6】

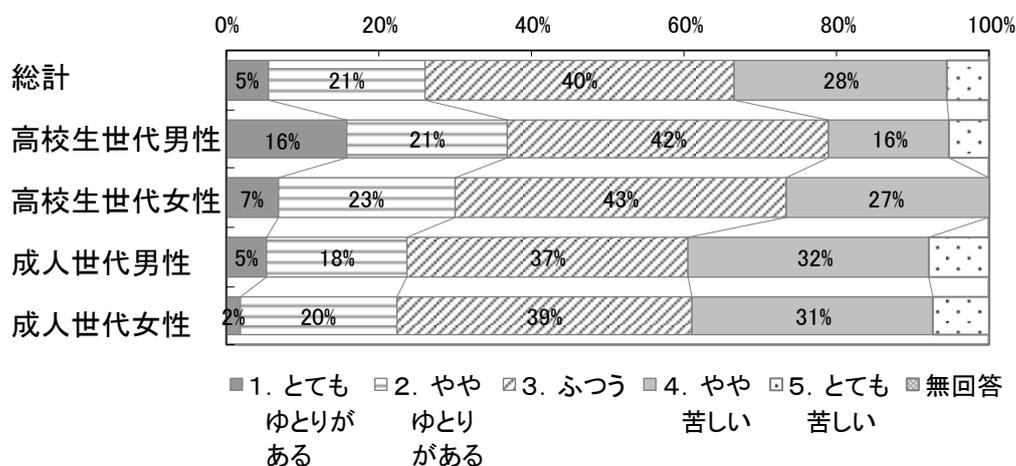
	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 父	112	77%	18	95%	24	80%	27	71%	39	72%
2. 母	131	90%	19	100%	30	100%	34	89%	44	81%
3. きょうだい	92	63%	17	89%	22	73%	20	53%	28	52%
4. 祖父母	8	5%	2	11%	2	7%	2	5%	1	2%
5. あなたの配偶者	4	3%	0	0%	0	0%	1	3%	3	6%
6. あなたの子	4	3%	0	0%	0	0%	1	3%	3	6%
7. その他の親族	3	2%	0	0%	0	0%	1	3%	2	4%
8. その他	7	5%	0	0%	1	3%	2	5%	4	7%
9. 同居している人はいない(単身世帯)	5	3%	0	0%	0	0%	1	3%	4	7%
無回答	1	1%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

同居者は、「母」が90%、「父」が77%、「きょうだい」が63%などとなっています。

現在の家庭の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つに○)

【問7】

	総計		高校生世代男性		高校生世代女性		成人世代男性		成人世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. とてもゆとりがある	8	5%	3	16%	2	7%	2	5%	1	2%
2. ややゆとりがある	30	21%	4	21%	7	23%	7	18%	11	20%
3. ふつう	59	40%	8	42%	13	43%	14	37%	21	39%
4. やや苦しい	41	28%	3	16%	8	27%	12	32%	17	31%
5. とても苦しい	8	5%	1	5%	0	0%	3	8%	4	7%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%



暮らしの状況については、「とても苦しい」が5%、「やや苦しい」が28%などとなっています。

2. 自分自身の気持ちについて

ご自身の気持ちに関する次の(1)～(10)について、それぞれ、どのくらいあてはまりますか。それぞれの項目について答えてください。(それぞれ1つに○)

【問8】

問8では、自分自身の気持ちについて、自己肯定感や幸福感、生活の充実度、将来の意識、意欲的な姿勢、自己有用感、孤独感などを4段階尺度でたずねています。

《1. 今の自分が好きだ》

	総計		高校生世代男性		高校生世代女性		成年世代男性		成年世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
あてはまる	26	18%	3	16%	8	27%	5	13%	9	17%
どちらかといえば、あてはまる	63	43%	9	47%	13	43%	17	45%	21	39%
どちらかといえば、あてはまらない	36	25%	4	21%	7	23%	8	21%	16	30%
あてはまらない	21	14%	3	16%	2	7%	8	21%	8	15%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

《2. 今、自分は幸せだと感じる》

	総計		高校生世代男性		高校生世代女性		成年世代男性		成年世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
あてはまる	38	26%	5	26%	11	37%	10	26%	10	19%
どちらかといえば、あてはまる	72	49%	8	42%	17	57%	17	45%	28	52%
どちらかといえば、あてはまらない	30	21%	4	21%	2	7%	9	24%	14	26%
あてはまらない	6	4%	2	11%	0	0%	2	5%	2	4%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

「1. 今の自分が好きか」という自己肯定感については「あてはまらない」と「どちらかといえば、あてはまらない」をあわせた自己肯定感の低い層は39%で、「あてはまる」は18%です。「あてはまる」は高校生世代の女性で割合が高くなっています。

「2. 今、自分は幸せだと感じる」という幸福感については、「あてはまらない」と「どちらかといえば、あてはまらない」をあわせた幸福感の低い層は25%で、「あてはまる」は26%です。「あてはまる」は高校生世代の女性で割合が高くなっています。

《3. 自分の将来についての人生設計（ライフプラン）について、よく考えたことがある》

	総計		高校生世代男性		高校生世代女性		成年世代男性		成年世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
あてはまる	45	31%	3	16%	15	50%	11	29%	15	28%
どちらかといえば、あてはまる	50	34%	10	53%	9	30%	9	24%	19	35%
どちらかといえば、あてはまらない	32	22%	4	21%	4	13%	9	24%	14	26%
あてはまらない	19	13%	2	11%	2	7%	9	24%	6	11%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

《4. 今の生活が充実している》

	総計		高校生世代男性		高校生世代女性		成年世代男性		成年世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
あてはまる	31	21%	5	26%	11	37%	6	16%	8	15%
どちらかといえば、あてはまる	79	54%	10	53%	13	43%	23	61%	29	54%
どちらかといえば、あてはまらない	24	16%	2	11%	5	17%	6	16%	11	20%
あてはまらない	12	8%	2	11%	1	3%	3	8%	6	11%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

《5. 自分の将来に明るい希望を持っている》

	総計		高校生世代男性		高校生世代女性		成年世代男性		成年世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
あてはまる	27	18%	4	21%	12	40%	6	16%	5	9%
どちらかといえば、あてはまる	57	39%	9	47%	11	37%	12	32%	22	41%
どちらかといえば、あてはまらない	35	24%	3	16%	6	20%	6	16%	18	33%
あてはまらない	27	18%	3	16%	1	3%	14	37%	9	17%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

自分自身の生活の充実度や将来の意識のうち、「3. 自分の将来についての人生設計（ライフプラン）について、よく考えたことがある」は「あてはまる」は31%で、高校生世代の女性で50%と顕著に割合が高くなっています。

「4. 今の生活が充実している」の「あてはまる」は21%で、この項目も高校生世代の女性で割合が高くなっています。

「5. 自分の将来に明るい希望を持っている」については、「あてはまらない」が回答者全体で18%であるのに対し、成年世代の男性では37%と非常に割合が高くなっています。

《6. うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む》

	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
あてはまる	29	20%	4	21%	10	33%	5	13%	9	17%
どちらかといえば、あてはまる	60	41%	9	47%	11	37%	14	37%	23	43%
どちらかといえば、あてはまらない	41	28%	4	21%	6	20%	13	34%	17	31%
あてはまらない	16	11%	2	11%	3	10%	6	16%	5	9%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

《7. 社会のために役立つことをしたい》

	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
あてはまる	54	37%	6	32%	11	37%	15	39%	20	37%
どちらかといえば、あてはまる	56	38%	7	37%	11	37%	15	39%	20	37%
どちらかといえば、あてはまらない	21	14%	3	16%	7	23%	4	11%	7	13%
あてはまらない	15	10%	3	16%	1	3%	4	11%	7	13%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

《8. 自分は役に立たないと強く感じる》

	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
あてはまる	26	18%	1	5%	4	13%	10	26%	10	19%
どちらかといえば、あてはまる	35	24%	5	26%	4	13%	12	32%	13	24%
どちらかといえば、あてはまらない	53	36%	10	53%	13	43%	9	24%	19	35%
あてはまらない	32	22%	3	16%	9	30%	7	18%	12	22%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

「6. うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む」という自分のことに関する意欲的な姿勢については、「あてはまる」は20%で、高校生世代の女性で33%と割合が高くなっています。

「7. 社会のために役立つことをしたい」という社会貢献意欲については、「あてはまる」は37%、「あてはまらない」は10%で、他の項目ほど性別や世代による差がみられない状況です。

「8. 自分は役に立たないと強く感じる」という自己有用感については、自己有用感が低い「あてはまる」は18%で、成年世代の男性でやや割合が高くなっています。

《9. 孤独であると感じることがある》

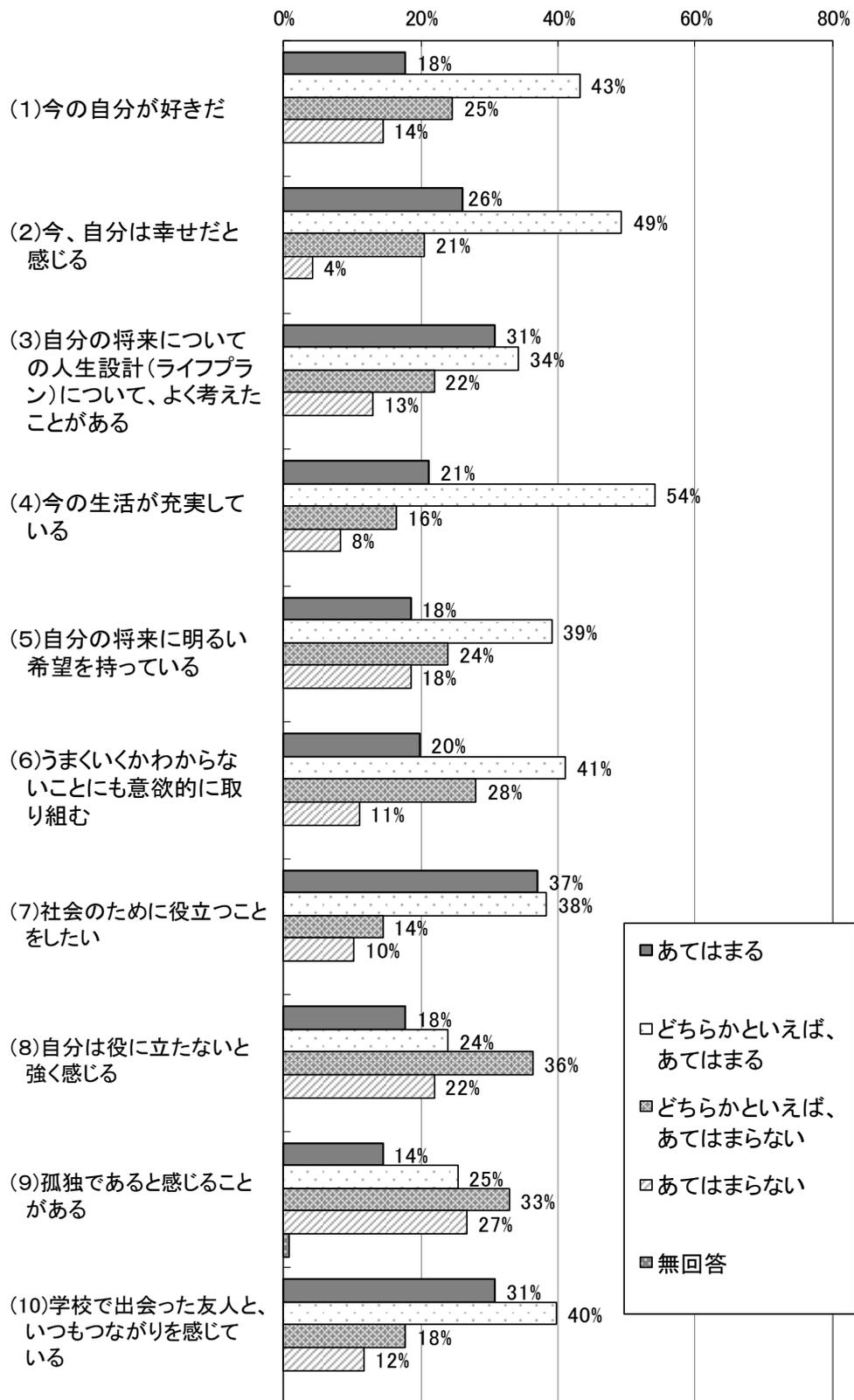
	総計		高校生世代男性		高校生世代女性		成年世代男性		成年世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
あてはまる	21	14%	1	5%	4	13%	6	16%	10	19%
どちらかといえば、あてはまる	37	25%	4	21%	6	20%	17	45%	9	17%
どちらかといえば、あてはまらない	48	33%	8	42%	10	33%	8	21%	19	35%
あてはまらない	39	27%	6	32%	10	33%	7	18%	15	28%
無回答	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

《10. 学校で出会った友人と、いつもつながりを感じている》

	総計		高校生世代男性		高校生世代女性		成年世代男性		成年世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
あてはまる	45	31%	9	47%	14	47%	4	11%	17	31%
どちらかといえば、あてはまる	58	40%	8	42%	10	33%	16	42%	20	37%
どちらかといえば、あてはまらない	26	18%	0	0%	4	13%	12	32%	10	19%
あてはまらない	17	12%	2	11%	2	7%	6	16%	7	13%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

孤独感に関する設問のうち、「9. 孤独であると感じることがある」については、「あてはまる」は14%で、「あてはまる」は高校生世代の男性で割合が低く、成年世代の女性で高い傾向がみられます。

「10. 学校で出会った友人と、いつもつながりを感じている」については、「あてはまらない」は12%で、成年世代の男性で低い傾向がみられます。



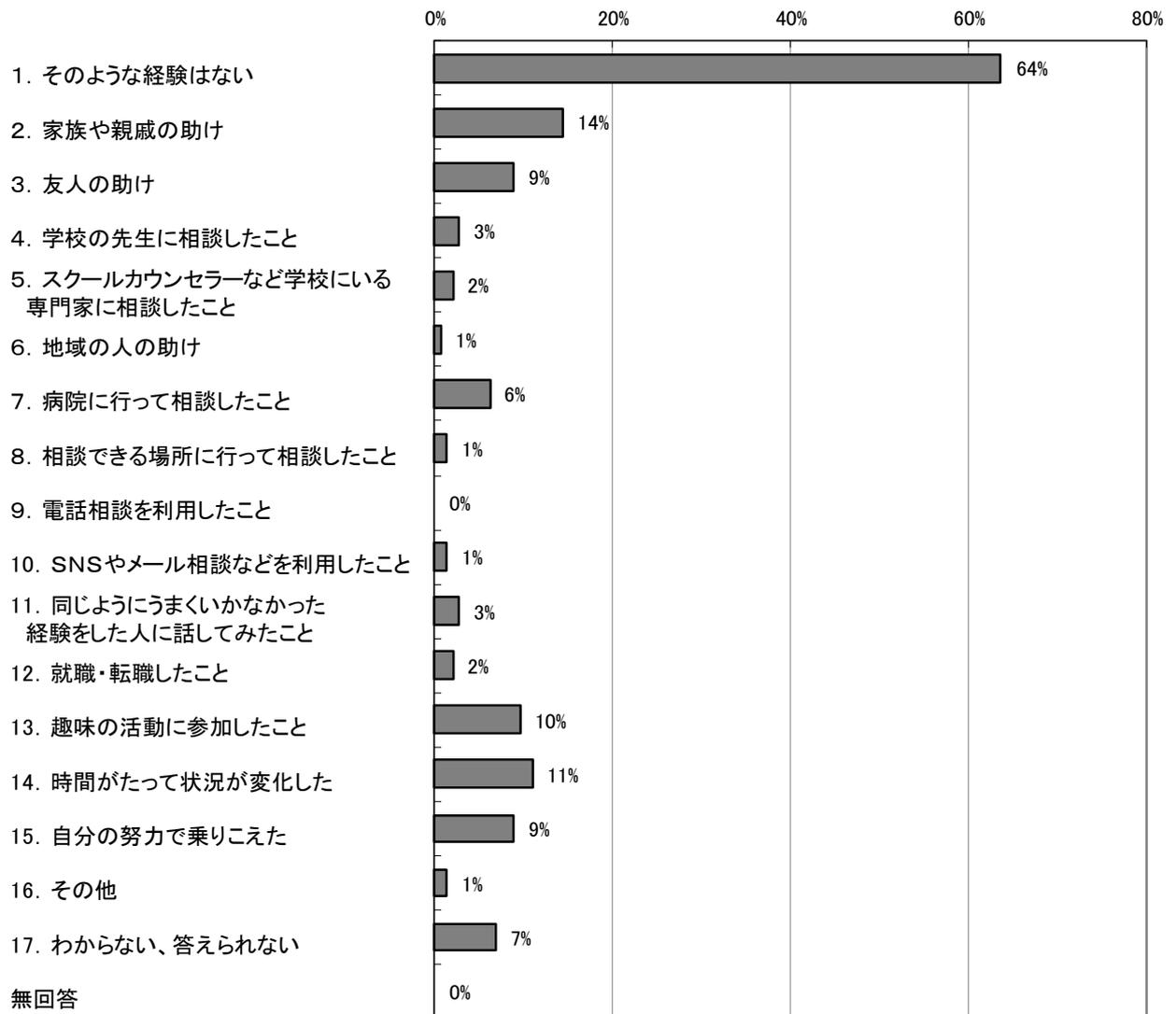
3. 外出の状況や居場所について

あなたは今までに、いわゆる「引きこもり」など、生活を円滑に送ることができない状態が「改善」した経験がありましたか。そのときに、役立ったことは何だと思いますか。(あてはまる番号すべてに○) 【問9】

	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. そのような経験はない	93	64%	15	79%	23	77%	23	61%	29	54%
2. 家族や親戚の助け	21	14%	2	11%	2	7%	6	16%	11	20%
3. 友人の助け	13	9%	1	5%	1	3%	3	8%	8	15%
4. 学校の先生に相談したこと	4	3%	1	5%	0	0%	1	3%	2	4%
5. スクールカウンセラーなど 学校にいる専門家に相談したこと	3	2%	0	0%	1	3%	1	3%	1	2%
6. 地域の人への助け	1	1%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%
7. 病院に行って相談したこと	9	6%	1	5%	2	7%	3	8%	2	4%
8. 相談できる場所に行って相談したこと	2	1%	0	0%	0	0%	1	3%	1	2%
9. 電話相談を利用したこと	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
10. SNSやメール相談などを利用したこと	2	1%	0	0%	0	0%	1	3%	1	2%
11. 同じようにうまくいかなかった経験を した人に話してみたこと	4	3%	0	0%	0	0%	1	3%	3	6%
12. 就職・転職したこと	3	2%	0	0%	0	0%	0	0%	3	6%
13. 趣味の活動に参加したこと	14	10%	1	5%	1	3%	7	18%	5	9%
14. 時間がたって状況が変化した	16	11%	1	5%	2	7%	4	11%	9	17%
15. 自分の努力で乗り越えた	13	9%	1	5%	3	10%	2	5%	6	11%
16. その他	2	1%	0	0%	1	3%	1	3%	0	0%
17. わからない、答えられない	10	7%	2	11%	1	3%	3	8%	4	7%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

「生活を円滑に送ることができない状態」の有無と、その改善に役立ったことをたずねたところ、「そのような経験はない」の回答者と無回答者を除き、3割程度の回答者が「生活を円滑に送ることができない状態」を経験したと回答しています。

改善に役立ったことは、「家族や親戚の助け」が最も多く、次いで「時間がたって状況が変化した」、「趣味の活動に参加したこと」、「友人の助け」、「自分の努力で乗り越えた」、「病院に行って相談したこと」などが続いています。



次の(1)～(5)の場所は、今のあなたにとっての居場所(ほっとできる場所、居心地のいい場所など)になっていますか。それぞれの項目について教えてください。(1つに○) 【問 10】

《1. 自分の部屋》

	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
あてはまる	101	69%	13	68%	22	73%	28	74%	36	67%
どちらかといえば、あてはまる	30	21%	1	5%	5	17%	9	24%	13	24%
どちらかといえば、あてはまらない	7	5%	2	11%	2	7%	0	0%	2	4%
あてはまらない	7	5%	2	11%	1	3%	1	3%	3	6%
無回答	1	1%	1	5%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

《2. 家庭(親せきの家を含む)》

	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
あてはまる	61	42%	10	53%	12	40%	15	39%	23	43%
どちらかといえば、あてはまる	64	44%	6	32%	15	50%	18	47%	23	43%
どちらかといえば、あてはまらない	15	10%	1	5%	3	10%	4	11%	6	11%
あてはまらない	5	3%	1	5%	0	0%	1	3%	2	4%
無回答	1	1%	1	5%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

《3. 学校・職場》

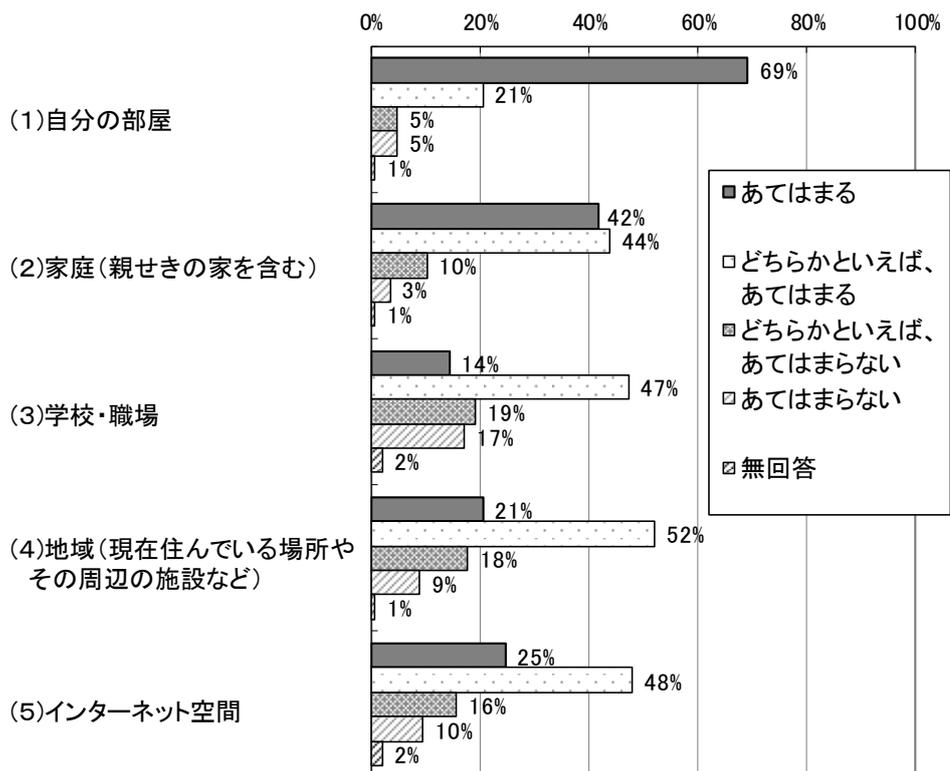
	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
あてはまる	21	14%	4	21%	9	30%	2	5%	6	11%
どちらかといえば、あてはまる	69	47%	9	47%	12	40%	20	53%	25	46%
どちらかといえば、あてはまらない	28	19%	1	5%	6	20%	9	24%	10	19%
あてはまらない	25	17%	3	16%	3	10%	7	18%	12	22%
無回答	3	2%	2	11%	0	0%	0	0%	1	2%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

《4. 地域(現在住んでいる場所やその周辺の施設など)》

	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
あてはまる	30	21%	5	26%	10	33%	6	16%	9	17%
どちらかといえば、あてはまる	76	52%	10	53%	14	47%	21	55%	28	52%
どちらかといえば、あてはまらない	26	18%	0	0%	5	17%	6	16%	13	24%
あてはまらない	13	9%	3	16%	1	3%	5	13%	4	7%
無回答	1	1%	1	5%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

《5. インターネット空間》

	総計		高校生世代男性		高校生世代女性		成年世代男性		成年世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
あてはまる	36	25%	7	37%	9	30%	12	32%	7	13%
どちらかといえば、あてはまる	70	48%	6	32%	13	43%	18	47%	29	54%
どちらかといえば、あてはまらない	23	16%	2	11%	6	20%	5	13%	10	19%
あてはまらない	14	10%	2	11%	1	3%	3	8%	8	15%
無回答	3	2%	2	11%	1	3%	0	0%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

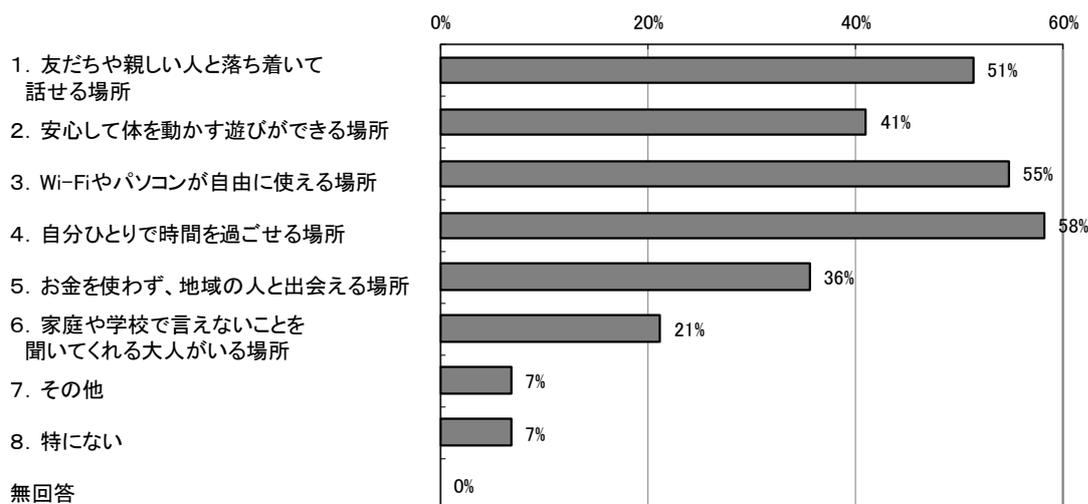


居場所（ほっとできる場所、居心地のいい場所など）について、5つの場所をあげて4段階尺度でたずねたところ、「あてはまる」、「どちらかといえば、あてはまる」の合計割合は「1. 自分の部屋」が90%と最も高く、次いで「2. 家庭（親せきの家を含む）」が86%、「4. 地域（現在住んでいる場所やその周辺の施設など）」と「5. インターネット空間」が73%、「3. 学校・職場」が61%と続きます。

「5. インターネット空間」の「あてはまる」は成年世代の女性で割合が低くなっています。

あなたは、地域に、どんな居場所があったらいいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○) 【問 11】

	総計		高校生世代男性		高校生世代女性		成年世代男性		成年世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 友だちや親しい人と落ち着いて話せる場所	75	51%	11	58%	16	53%	18	47%	29	54%
2. 安心して体を動かす遊びができる場所	60	41%	11	58%	9	30%	25	66%	15	28%
3. Wi-Fi やパソコンが自由に使える場所	80	55%	13	68%	17	57%	18	47%	31	57%
4. 自分ひとりで時間を過ごせる場所	85	58%	6	32%	14	47%	27	71%	36	67%
5. お金を使わず、地域の人と出会える場所	52	36%	6	32%	11	37%	15	39%	19	35%
6. 家庭や学校で言えないことを聞いてくれる大人がいる場所	31	21%	3	16%	4	13%	10	26%	14	26%
7. その他	10	7%	2	11%	1	3%	4	11%	3	6%
8. 特にない	10	7%	1	5%	3	10%	1	3%	3	6%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%



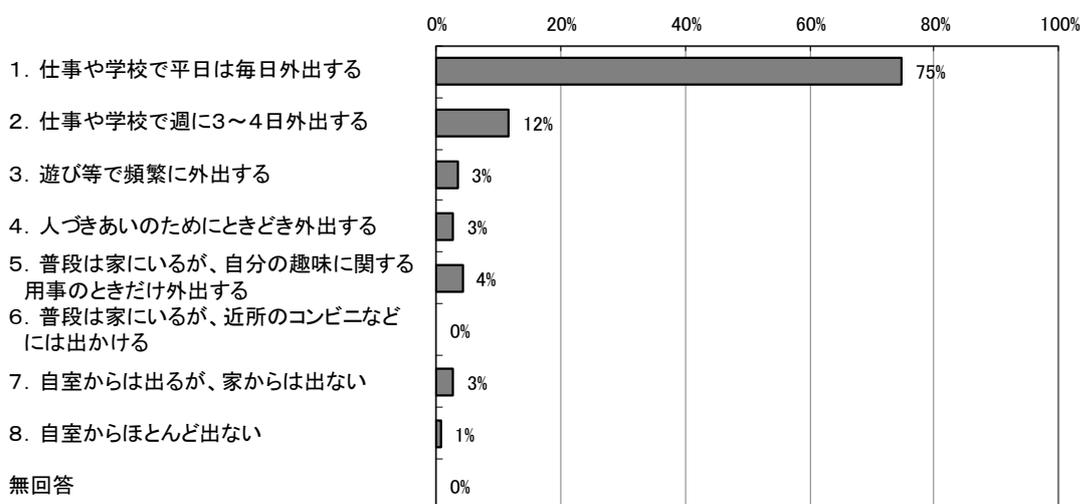
地域にあったらいいと思う場所については、高校生世代では「Wi-Fi やパソコンが自由に使える場所」が男女とも最も多く、成年世代では「自分ひとりで時間を使える場所」が最も多くなっています。

あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。

(1つに○)

【問 12】

	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 仕事や学校で平日は毎日外出する	109	75%	17	89%	27	90%	23	61%	38	70%
2. 仕事や学校で週に3～4日外出する	17	12%	0	0%	2	7%	6	16%	8	15%
3. 遊び等で頻繁に外出する	5	3%	0	0%	0	0%	3	8%	2	4%
4. 人づきあいのためにときどき外出する	4	3%	0	0%	0	0%	0	0%	4	7%
5. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事 のときだけ外出する	6	4%	0	0%	1	3%	3	8%	2	4%
6. 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには 出かける	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
7. 自室からは出るが、家からは出ない	4	3%	1	5%	0	0%	3	8%	0	0%
8. 自室からほとんど出ない	1	1%	1	5%	0	0%	0	0%	0	0%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%



ひきこもりの状況については、「自室からほとんど出ない」が1人、「自室からは出るが、家からは出ない」が4人、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のみときだけ外出する」が6人みられました。「自室からほとんど出ない」、「自室からは出るが、家からは出ない」はいずれも男性です。

問 12 で「5」～「8」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○) 【問 12-1】

	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 学校になじめなかったこと	3	27%	1	50%	0	0%	2	33%	0	0%
2. 小学校時代の不登校	1	9%	1	50%	0	0%	0	0%	0	0%
3. 中学校時代の不登校	3	27%	1	50%	0	0%	2	33%	0	0%
4. 高校時代の不登校	2	18%	1	50%	0	0%	1	17%	0	0%
5. 大学（専門学校、短期大学等を含む）時代の 不登校	1	9%	1	50%	0	0%	0	0%	0	0%
6. 受験に失敗したこと （高校・大学等）	1	9%	1	50%	0	0%	0	0%	0	0%
7. 就職活動がうまくい かなかったこと	1	9%	1	50%	0	0%	0	0%	0	0%
8. 職場になじめなかつ たこと	1	9%	1	50%	0	0%	0	0%	0	0%
9. 人間関係がうまくい かなかったこと	3	27%	1	50%	0	0%	2	33%	0	0%
10. 病気	1	9%	1	50%	0	0%	0	0%	0	0%
11. 妊娠したこと	1	9%	1	50%	0	0%	0	0%	0	0%
12. 退職したこと	2	18%	1	50%	0	0%	1	17%	0	0%
13. 介護・看護を担うこ とになったこと	1	9%	1	50%	0	0%	0	0%	0	0%
14. 新型コロナウイルス 感染症が流行したこと	1	9%	1	50%	0	0%	0	0%	0	0%
15. その他	3	27%	2	100%	0	0%	0	0%	1	50%
16. 特に理由はない	5	45%	0	0%	0	0%	4	67%	1	50%
17. わからない	1	9%	0	0%	1	100%	0	0%	0	0%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	11	100%	2	100%	1	100%	6	100%	2	100%

ひきこもりの理由については、「学校になじめなかったこと」、「中学校時代の不登校」、「人間関係がうまくいかなかったこと」が3件ずつ、「高校時代の不登校」、「退職したこと」が2件ずつあげられています。

「その他」の自由記載欄には「気分」、「会話があまり得意ではない。ひきこもっていた期間が長いからその影響がまだあるように感じるから。」という記載がありました。

外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。(1つに○)

【問 12-2】

	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3か月未満	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
3か月～6か月未満	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
6か月～1年未満	1	9%	0	0%	0	0%	1	17%	0	0%
1年～2年未満	3	27%	0	0%	0	0%	1	17%	2	100%
2年～3年未満	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
3年～5年未満	2	18%	0	0%	1	100%	1	17%	0	0%
5年～7年未満	1	9%	0	0%	0	0%	1	17%	0	0%
7年～10年未満	2	18%	0	0%	0	0%	2	33%	0	0%
10年以上	1	9%	1	50%	0	0%	0	0%	0	0%
無回答	1	9%	1	50%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	11	100%	2	100%	1	100%	6	100%	2	100%

ひきこもりの期間については、「1年～2年未満」が27%と最も多くなっていますが、10年以上という回答もみられます。

4. 悩みについて

あなたは、今、どんなことに、どのくらい、悩んでいますか。((1) ~ (13) それぞれ1つに○) 【問 13】

問 13 では、悩みの内容ごとの悩みの程度をたずねています。
悩みの内容は、自分自身のこと、人間関係、家計のことなど 13 項目あります。

《1. 勉強や仕事（社会人の方）のこと》

	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
とても悩んでいる	33	23%	4	21%	5	17%	9	24%	15	28%
少し、悩んでいる	67	46%	6	32%	15	50%	18	47%	25	46%
あまり、悩んでいない	36	25%	7	37%	6	20%	8	21%	13	24%
まったく、悩んでいない	9	6%	2	11%	4	13%	2	5%	1	2%
無回答	1	1%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

《2. 将来の進路のこと》

	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
とても悩んでいる	53	36%	8	42%	6	20%	18	47%	20	37%
少し、悩んでいる	56	38%	7	37%	14	47%	11	29%	21	39%
あまり、悩んでいない	27	18%	3	16%	8	27%	6	16%	10	19%
まったく、悩んでいない	10	7%	1	5%	2	7%	3	8%	3	6%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

自分自身の悩みのうち、「1. 勉強や仕事のこと」については、「とても悩んでいる」は23%で、「2. 将来の進路のこと」については、「とても悩んでいる」は36%となっています。「2. 将来の進路のこと」は、男性の方が「とても悩んでいる」の割合が高い傾向がみられます。

《3. 自分の外見（顔・体形など）のこと》

	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
とても悩んでいる	23	16%	3	16%	3	10%	6	16%	10	19%
少し、悩んでいる	50	34%	3	16%	14	47%	13	34%	19	35%
あまり、悩んでいない	49	34%	8	42%	8	27%	12	32%	19	35%
まったく、悩んでいない	23	16%	5	26%	5	17%	6	16%	6	11%
無回答	1	1%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

《4. こころや体の健康のこと》

	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
とても悩んでいる	24	16%	2	11%	2	7%	7	18%	13	24%
少し、悩んでいる	48	33%	2	11%	7	23%	17	45%	21	39%
あまり、悩んでいない	51	35%	10	53%	14	47%	8	21%	16	30%
まったく、悩んでいない	23	16%	5	26%	7	23%	6	16%	4	7%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

自分自身の悩みのうち、「3. 自分の外見（顔・体形など）のこと」については、「とても悩んでいる」は16%で、「少し、悩んでいる」まで含めると、女性の方が悩んでいる割合が高い傾向がみられます。

「4. こころや体の健康のこと」についても、「とても悩んでいる」は16%となっています。「少し、悩んでいる」を含め、こちらも女性の方が悩んでいる割合が高い傾向がみられます。

《5. 友だちづきあいのこと》

	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
とても悩んでいる	11	8%	2	11%	2	7%	4	11%	3	6%
少し、悩んでいる	38	26%	2	11%	10	33%	9	24%	14	26%
あまり、悩んでいない	59	40%	11	58%	11	37%	15	39%	21	39%
まったく、悩んでいない	37	25%	4	21%	7	23%	9	24%	16	30%
無回答	1	1%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

《6. 恋愛のこと》

	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
とても悩んでいる	18	12%	5	26%	1	3%	5	13%	7	13%
少し、悩んでいる	32	22%	1	5%	8	27%	11	29%	11	20%
あまり、悩んでいない	48	33%	3	16%	11	37%	13	34%	20	37%
まったく、悩んでいない	47	32%	10	53%	10	33%	8	21%	16	30%
無回答	1	1%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

《7. 学校や職場の人間関係のこと》

	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
とても悩んでいる	16	11%	1	5%	6	20%	2	5%	7	13%
少し、悩んでいる	46	32%	4	21%	10	33%	12	32%	19	35%
あまり、悩んでいない	57	39%	9	47%	9	30%	14	37%	22	41%
まったく、悩んでいない	26	18%	5	26%	5	17%	9	24%	6	11%
無回答	1	1%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

人間関係の悩みのうち、「5. 友だちづきあいのこと」については、「とても悩んでいる」は8%で、「6. 恋愛のこと」の「とても悩んでいる」は12%、「7. 学校や職場の人間関係のこと」の「とても悩んでいる」は11%となっています。

「6. 恋愛のこと」の「とても悩んでいる」は高校生世代の男性で割合が高く、一方で高校生世代の男性は「まったく、悩んでいない」の割合も高くなっています。

「7. 学校や職場の人間関係のこと」は「少し、悩んでいる」までを含めると、女性の方が悩んでいる割合が高い傾向がみられます。

《8. 家族の健康のこと》

	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
とても悩んでいる	17	12%	2	11%	0	0%	7	18%	7	13%
少し、悩んでいる	44	30%	4	21%	6	20%	14	37%	18	33%
あまり、悩んでいない	51	35%	6	32%	14	47%	8	21%	21	39%
まったく、悩んでいない	34	23%	7	37%	10	33%	9	24%	8	15%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

《9. 家族の仲が悪いこと》

	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
とても悩んでいる	14	10%	2	11%	2	7%	2	5%	7	13%
少し、悩んでいる	15	10%	3	16%	2	7%	4	11%	6	11%
あまり、悩んでいない	43	29%	6	32%	12	40%	11	29%	12	22%
まったく、悩んでいない	74	51%	8	42%	14	47%	21	55%	29	54%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

《10. 家のお金のこと》

	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
とても悩んでいる	27	18%	2	11%	3	10%	9	24%	13	24%
少し、悩んでいる	44	30%	4	21%	8	27%	11	29%	19	35%
あまり、悩んでいない	43	29%	8	42%	11	37%	12	32%	10	19%
まったく、悩んでいない	32	22%	5	26%	8	27%	6	16%	12	22%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

《11. 親が厳しいこと》

	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
とても悩んでいる	5	3%	2	11%	1	3%	0	0%	2	4%
少し、悩んでいる	11	8%	0	0%	3	10%	1	3%	7	13%
あまり、悩んでいない	65	45%	10	53%	15	50%	21	55%	16	30%
まったく、悩んでいない	64	44%	7	37%	11	37%	16	42%	28	52%
無回答	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

家庭内の悩みのうち、「8. 家族の健康のこと」については、「とても悩んでいる」は12%で、「9. 家族の仲が悪いこと」の「とても悩んでいる」は10%となっています。「10. 家のお金のこと」の「とても悩んでいる」は18%、「11. 親が厳しいこと」の「とても悩んでいる」は3%となっています。

《12. ネットでの人間関係のこと》

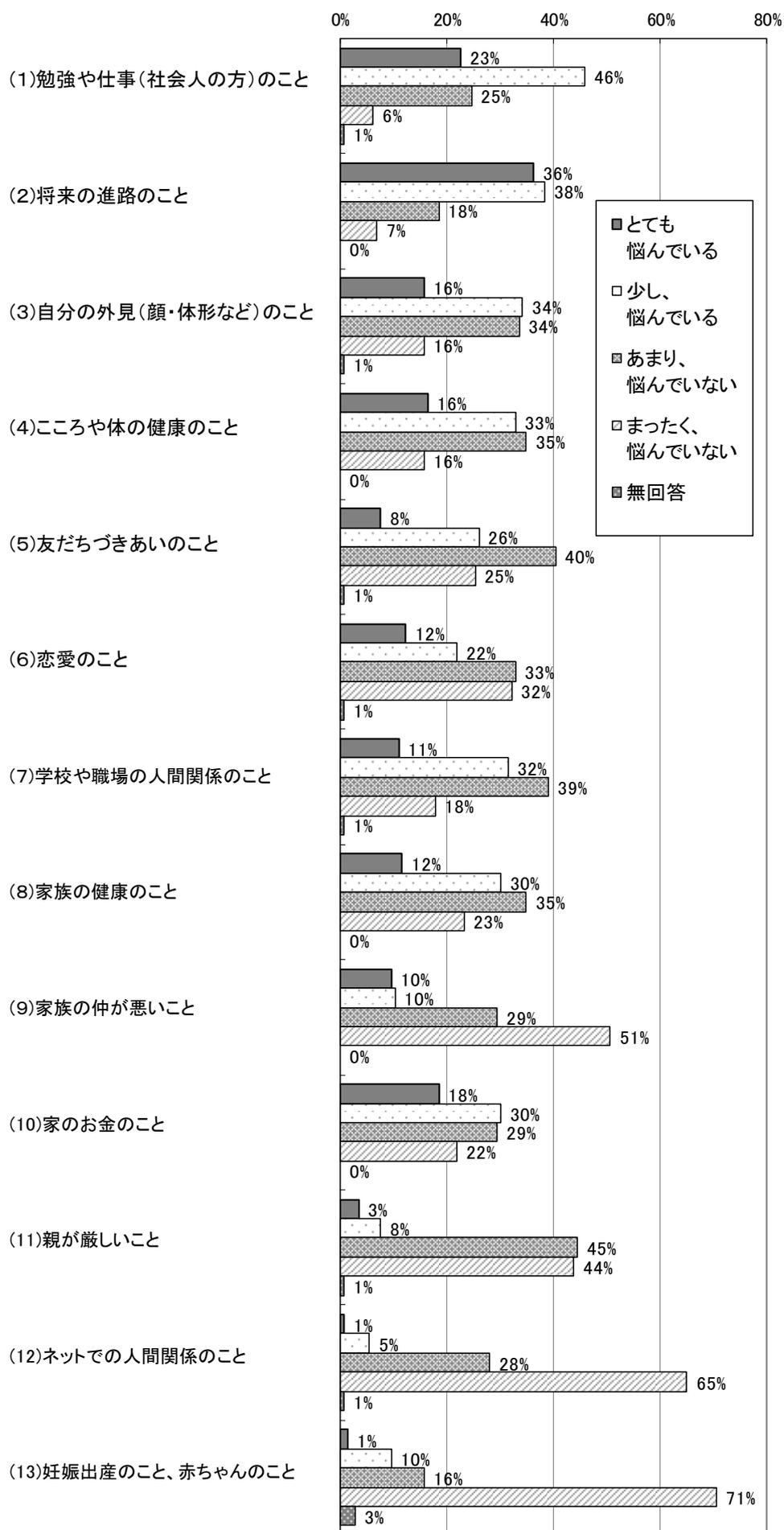
	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
とても悩んでいる	1	1%	1	5%	0	0%	0	0%	0	0%
少し、悩んでいる	8	5%	0	0%	0	0%	2	5%	6	11%
あまり、悩んでいない	41	28%	7	37%	8	27%	9	24%	14	26%
まったく、悩んでいない	95	65%	11	58%	22	73%	26	68%	34	63%
無回答	1	1%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

「12. ネットでの人間関係のこと」については、「とても悩んでいる」は1件のみでした。

《13. 妊娠出産のこと、赤ちゃんのこと》

	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
とても悩んでいる	2	1%	0	0%	0	0%	0	0%	2	4%
少し、悩んでいる	14	10%	0	0%	0	0%	3	8%	11	20%
あまり、悩んでいない	23	16%	3	16%	7	23%	2	5%	10	19%
まったく、悩んでいない	103	71%	14	74%	23	77%	32	84%	30	56%
無回答	4	3%	2	11%	0	0%	1	3%	1	2%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

「13. 妊娠出産のこと、赤ちゃんのこと」については、「とても悩んでいる」が2件、「少し、悩んでいる」が14件みられました。

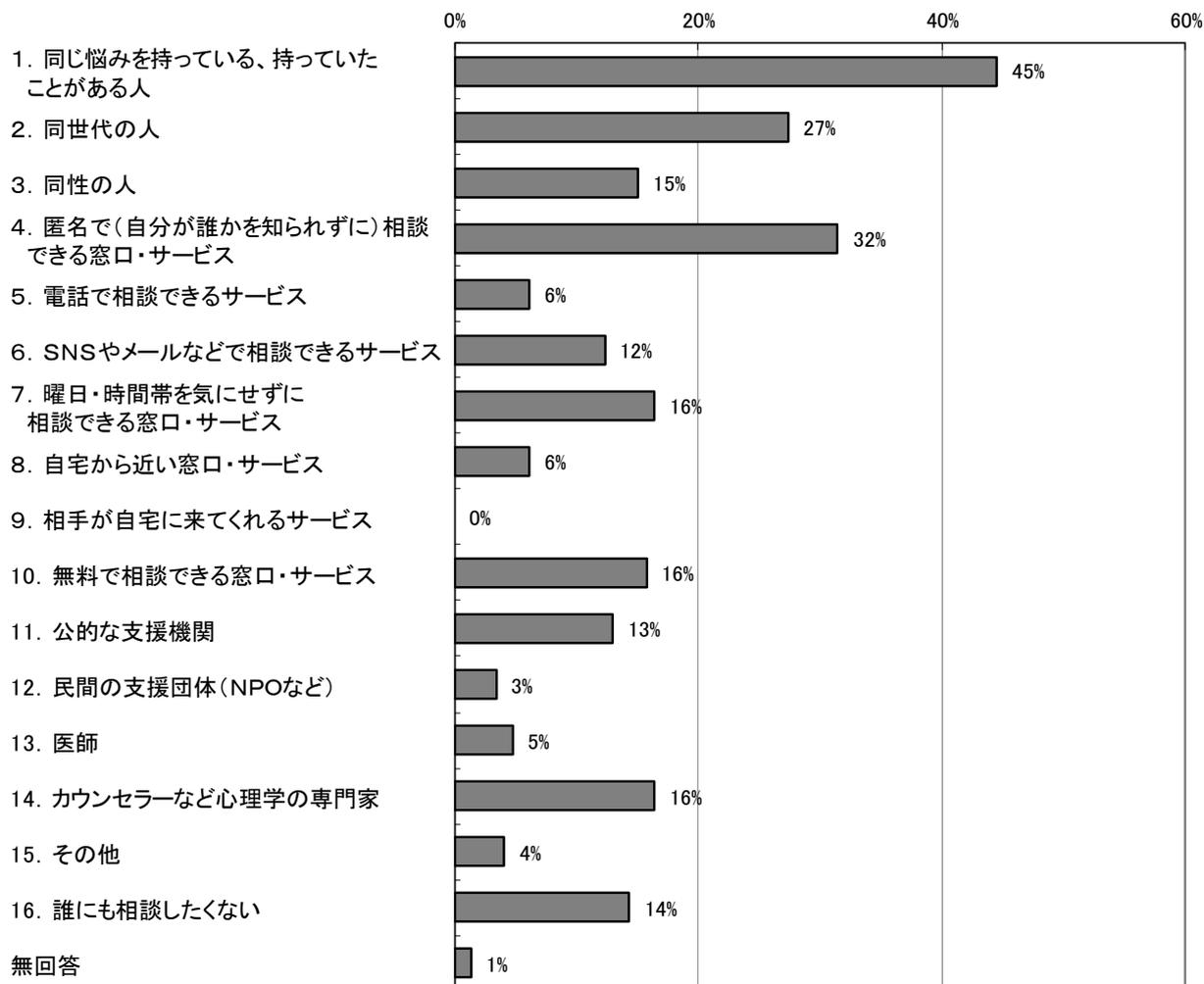


あなたが、生活を円滑に送ることができない状態となったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所に相談したいと思いますか。
 (あてはまる番号すべてに○) 【問 15】

	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 同じ悩みを持っている、持っていたことがある人	65	45%	8	42%	14	47%	16	42%	26	48%
2. 同世代の人	40	27%	5	26%	9	30%	12	32%	13	24%
3. 同性の人	22	15%	2	11%	7	23%	5	13%	8	15%
4. 匿名で（自分が誰かを知られずに）相談できる窓口・サービス	46	32%	4	21%	8	27%	12	32%	22	41%
5. 電話で相談できるサービス	9	6%	2	11%	1	3%	1	3%	5	9%
6. SNSやメールなどで相談できるサービス	18	12%	3	16%	4	13%	7	18%	4	7%
7. 曜日・時間帯を気にせずに相談できる窓口・サービス	24	16%	2	11%	3	10%	6	16%	13	24%
8. 自宅から近い窓口・サービス	9	6%	0	0%	0	0%	2	5%	7	13%
9. 相手が自宅に来てくれるサービス	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
10. 無料で相談できる窓口・サービス	23	16%	1	5%	3	10%	5	13%	14	26%
11. 公的な支援機関	19	13%	2	11%	0	0%	7	18%	10	19%
12. 民間の支援団体（NPOなど）	5	3%	1	5%	0	0%	1	3%	3	6%
13. 医師	7	5%	0	0%	0	0%	3	8%	4	7%
14. カウンセラーなど心理学の専門家	24	16%	2	11%	4	13%	8	21%	9	17%
15. その他	6	4%	0	0%	1	3%	1	3%	3	6%
16. 誰にも相談したくない	21	14%	3	16%	6	20%	4	11%	7	13%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

生活を円滑に送ることができない状態となったときの、家族や知り合い以外の相談先の希望は、「同じ悩みを持っている、持っていたことがある人」が45%と最も割合が高く、次いで「匿名で（自分が誰かを知られずに）相談できる窓口・サービス」の32%、「同世代の人」の27%が続いています。

「誰にも相談したくない」という回答も14%みられました。



問 15 で「16」に○をつけた方にうかがいます。相談したくないと思う理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

【問 15－1】

	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 相談しても解決できないと思うから	7	33%	2	67%	1	17%	1	25%	3	43%
2. 自分ひとりで解決すべきだと思うから	5	24%	2	67%	1	17%	1	25%	0	0%
3. 誰にも知られたくないことだから	4	19%	1	33%	1	17%	1	25%	1	14%
4. 自分が変な人に思われるのではないかと不安だから	2	10%	1	33%	0	0%	0	0%	1	14%
5. 自分の欠点や失敗を悪く言われそうだから	2	10%	1	33%	0	0%	0	0%	1	14%
6. 相手がどんな人かわからないから	8	38%	2	67%	3	50%	1	25%	2	29%
7. 何を聞かれるか不安に思うから	4	19%	1	33%	1	17%	0	0%	2	29%
8. 嫌なこと、できないことをするように言われそうだから	7	33%	1	33%	2	33%	0	0%	4	57%
9. 相手にうまく伝えられないから	9	43%	1	33%	3	50%	2	50%	3	43%
10. 裏切られたり、失望したりするのが嫌だから	6	29%	1	33%	2	33%	1	25%	2	29%
11. お金がかかると思うから	2	10%	1	33%	0	0%	0	0%	1	14%
12. その他	4	19%	0	0%	2	33%	1	25%	1	14%
13. 特に理由はない、わからない	4	19%	1	33%	0	0%	1	25%	2	29%
無回答	2	1%	0	0%	1	3%	0	0%	1	2%
合計	21	100%	3	100%	6	100%	4	100%	7	100%

生活を円滑に送ることができない状態となっても、家族や知り合い以外に相談したくない理由としては、「相手にうまく伝えられないから」が43%と最も割合が高く、次いで「相手がどんな人かわからないから」が38%となっています。

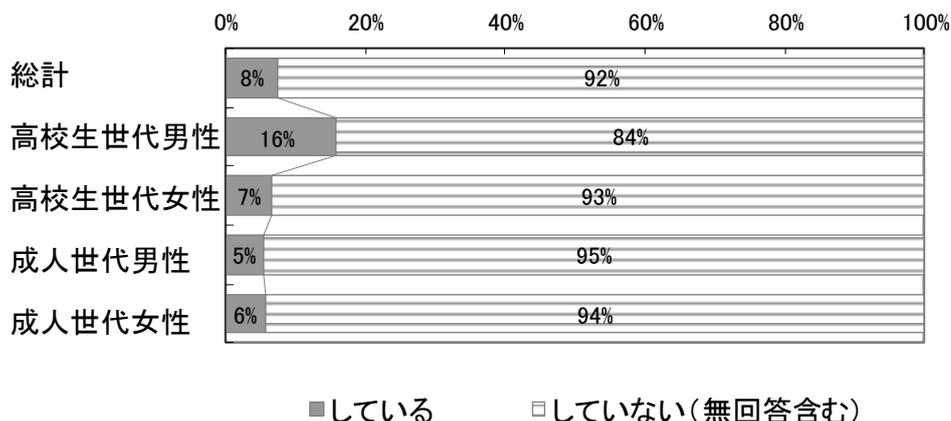
5. ヤングケアラーについて

家族の中に、あなたが世話をしている人はいますか（お子さんがいる場合はお子さん以外で）。あなたからみた続柄でお答えください。（あてはまる番号すべてに○） 【問 16】

	総計		高校生世代男性		高校生世代女性		成年世代男性		成年世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 母親	8	5%	3	16%	1	3%	1	3%	2	4%
2. 父親	6	4%	2	11%	1	3%	1	3%	1	2%
3. 祖母	6	4%	1	5%	1	3%	1	3%	3	6%
4. 祖父	4	3%	1	5%	1	3%	0	0%	2	4%
5. きょうだい	1	1%	1	5%	0	0%	0	0%	0	0%
6. その他	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%
7. 世話をしている人はいない	134	92%	16	84%	27	90%	36	95%	51	94%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

《再集計》家族の誰かの世話をしているかどうか

	総計		高校生世代男性		高校生世代女性		成年世代男性		成年世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
している	11	8%	3	16%	2	7%	2	5%	3	6%
していない（無回答含む）	135	92%	16	84%	28	93%	36	95%	51	94%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%



問 16 は、枝設問を含め、ヤングケアラーの状況を把握するための設問です。「家族の誰かを世話をしている」という回答は全体の 8% ありました。世話をしている相手は「母親」「父親」、「祖母」などとなっています。

問 16 で「1」～「6」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。世話を必要としている理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○) 【問 16-1】

	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 高齢 (65 歳以上)	5	45%	1	33%	1	50%	0	0%	3	100%
2. 要介護 (介護が必要な状態)	3	27%	1	33%	0	0%	1	50%	1	33%
3. 認知症	1	9%	1	33%	0	0%	0	0%	0	0%
4. 身体障がい	4	36%	1	33%	1	50%	1	50%	1	33%
5. 知的障がい	1	9%	1	33%	0	0%	0	0%	0	0%
6. 精神疾患	3	27%	1	33%	0	0%	1	50%	1	33%
7. 依存症 (アルコール、ギャンブルなど)	2	18%	1	33%	0	0%	0	0%	1	33%
8. その他の病気	2	18%	1	33%	0	0%	0	0%	1	33%
9. 日本語が不自由	2	18%	1	33%	0	0%	1	50%	0	0%
10. その他	3	27%	2	67%	0	0%	0	0%	1	33%
11. わからない	2	18%	0	0%	1	50%	0	0%	0	0%
無回答	1	9%	1	33%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	11	100%	3	100%	2	100%	2	100%	3	100%

家族が世話を必要としている理由は、「高齢 (65 歳以上)」が5件と最も多く、「身体障がい」、「要介護 (介護が必要な状態)」、「精神疾患」が続きます。

あなたが行っている世話の内容を教えてください。(あてはまる番号すべてに○) 【問 16-2】

	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 家事 (食事の準備や掃除、洗濯)	5	45%	2	67%	1	50%	0	0%	2	67%
2. きょうだいの世話や保育所等への送迎など	3	27%	2	67%	0	0%	0	0%	1	33%
3. 身体的な介護 (入浴やトイレのお世話など)	1	9%	1	33%	0	0%	0	0%	0	0%
4. 外出の付き添い (買い物、散歩など)	5	45%	1	33%	1	50%	0	0%	3	100%
5. 通院の付き添い	3	27%	1	33%	0	0%	0	0%	2	67%
6. 感情面のサポート	6	55%	2	67%	1	50%	1	50%	2	67%
7. 目が離せない家族への見守りや声かけ	3	27%	1	33%	1	50%	0	0%	1	33%
8. 通訳 (日本語や手話など)	1	9%	1	33%	0	0%	0	0%	0	0%
9. 金銭管理	2	18%	2	67%	0	0%	0	0%	0	0%
10. 薬の管理	3	27%	2	67%	0	0%	0	0%	1	33%
11. その他	4	36%	2	67%	0	0%	1	50%	0	0%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	11	100%	3	100%	2	100%	2	100%	3	100%

行っている世話の内容については、「感情面のサポート」が最も多く、「家事 (食事の準備や掃除、洗濯)」と「外出の付き添い (買い物、散歩など)」が続いています。

あなたが世話をしている時間を全部あわせると、どのくらいですか。(〇は1つ)
【問 16-3】

	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 毎日何時間も行っている	3	27%	2	67%	0	0%	0	0%	1	33%
2 毎日、10分～1時間くらい行っている	1	9%	0	0%	1	50%	0	0%	0	0%
3 2日に1回くらい、何時間も行っている	1	9%	0	0%	0	0%	0	0%	1	33%
4 2日に1回くらい、10分～1時間くらい行っている	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
5 週に1～2日くらい、何時間も行っている	1	9%	0	0%	0	0%	1	50%	0	0%
6 週に1～2日くらい、10分～1時間くらい行っている	1	9%	0	0%	0	0%	0	0%	1	33%
7 1～6の量よりは少ない	2	18%	0	0%	1	50%	1	50%	0	0%
無回答	2	18%	1	33%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	11	100%	3	100%	2	100%	2	100%	3	100%

世話をしている時間は、「毎日何時間も行っている」が11人中3人、「2日に1回くらい、何時間も行っている」が11人中1人となっています。

世話をしているために、やりたいけどできないことはありますか。(あてはまる番号すべてに○) 【問 16-4】

	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 学校や仕事に行きたくても行けない	1	9%	1	33%	0	0%	0	0%	0	0%
2. 学校や仕事を遅刻・早退してしまう	1	9%	1	33%	0	0%	0	0%	0	0%
3. 睡眠が十分に取れない	2	18%	1	33%	0	0%	0	0%	1	33%
4. 遊びや息抜きができない	3	27%	1	33%	0	0%	0	0%	2	67%
5. 習い事ができない、もしくは辞めた	1	9%	1	33%	0	0%	0	0%	0	0%
6. 好きなことにお金を使えない	4	36%	2	67%	0	0%	0	0%	2	67%
7. 希望する進路を選べない	1	9%	1	33%	0	0%	0	0%	0	0%
8. 自分の時間がとれない	3	27%	1	33%	1	50%	0	0%	1	33%
9. その他	2	18%	1	33%	0	0%	1	50%	0	0%
10. 特にない	3	27%	0	0%	1	50%	1	50%	0	0%
無回答	1	9%	1	33%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	11	100%	3	100%	2	100%	2	100%	3	100%

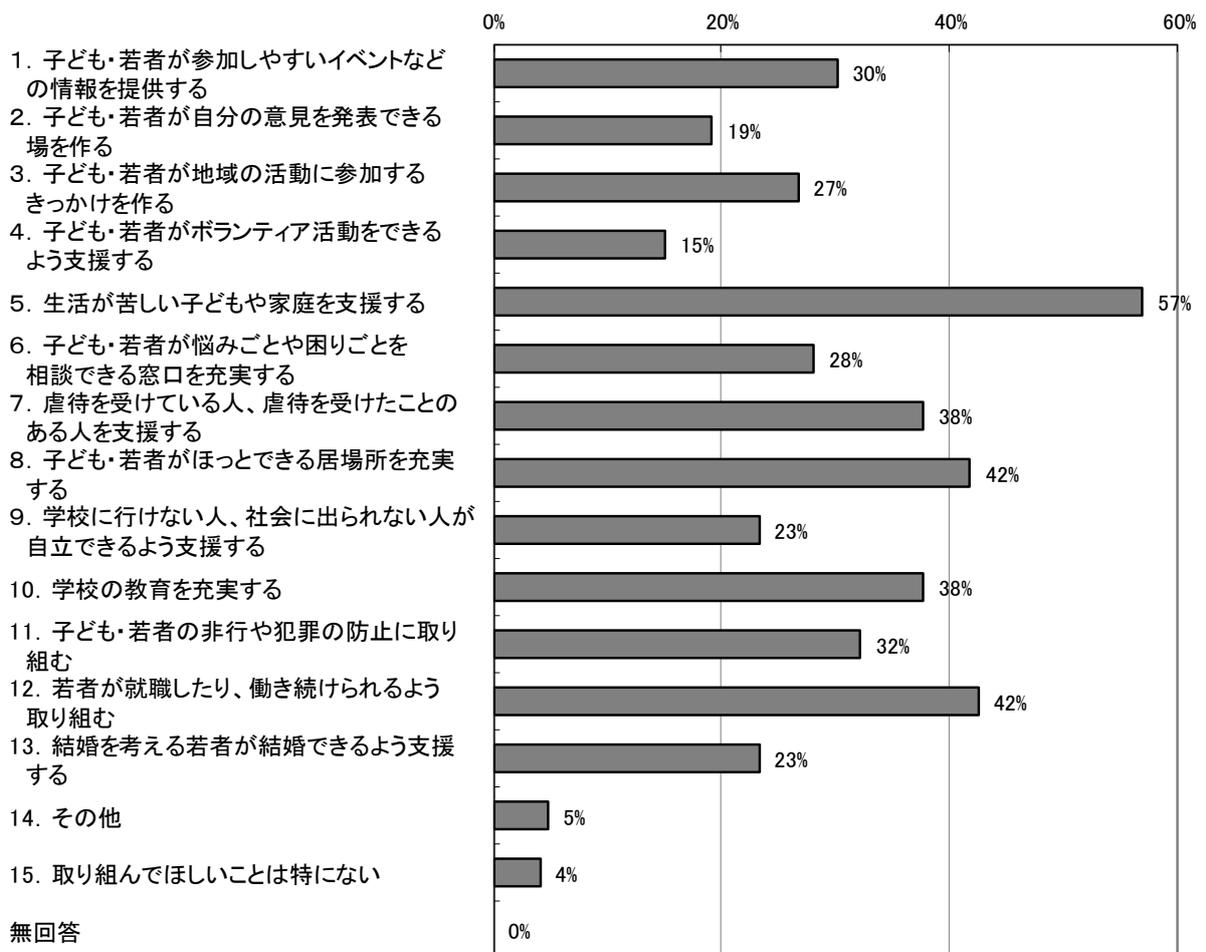
世話をしているために、やりたいけどできないことについては、「好きなことにお金を使えない」、「遊びや息抜きができない」、「自分の時間がとれない」などがあがっています。

6. 子ども・若者への支援について

あなたは、子ども・若者への支援について、市役所にどんなことに取り組んでほしいですか。(あてはまる番号すべてに○) 【問 17】

	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 子ども・若者が参加しやすいイベントなどの情報を提供する	44	30%	7	37%	7	23%	15	39%	13	24%
2. 子ども・若者が自分の意見を発表できる場を作る	28	19%	6	32%	3	10%	7	18%	12	22%
3. 子ども・若者が地域の活動に参加するきっかけを作る	39	27%	5	26%	5	17%	16	42%	13	24%
4. 子ども・若者がボランティア活動ができるよう支援する	22	15%	2	11%	7	23%	4	11%	8	15%
5. 生活が苦しい子どもや家庭を支援する	83	57%	10	53%	14	47%	25	66%	32	59%
6. 子ども・若者が悩みごとや困りごとを相談できる窓口を充実する	41	28%	6	32%	5	17%	12	32%	17	31%
7. 虐待を受けている人、虐待を受けたことのある人を支援する	55	38%	6	32%	11	37%	9	24%	28	52%
8. 子ども・若者がほっとできる居場所を充実する	61	42%	10	53%	11	37%	17	45%	22	41%
9. 学校に行けない人、社会に出られない人が自立できるよう支援する	34	23%	6	32%	7	23%	6	16%	15	28%
10. 学校の教育を充実する	55	38%	10	53%	10	33%	15	39%	19	35%
11. 子ども・若者の非行や犯罪の防止に取り組む	47	32%	6	32%	13	43%	10	26%	17	31%
12. 若者が就職したり、働き続けられるよう取り組む	62	42%	6	32%	9	30%	18	47%	29	54%
13. 結婚を考える若者が結婚できるよう支援する	34	23%	5	26%	4	13%	10	26%	15	28%
14. その他	7	5%	2	11%	2	7%	2	5%	1	2%
15. 取り組んでほしいことは特にない	6	4%	1	5%	2	7%	1	3%	1	2%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

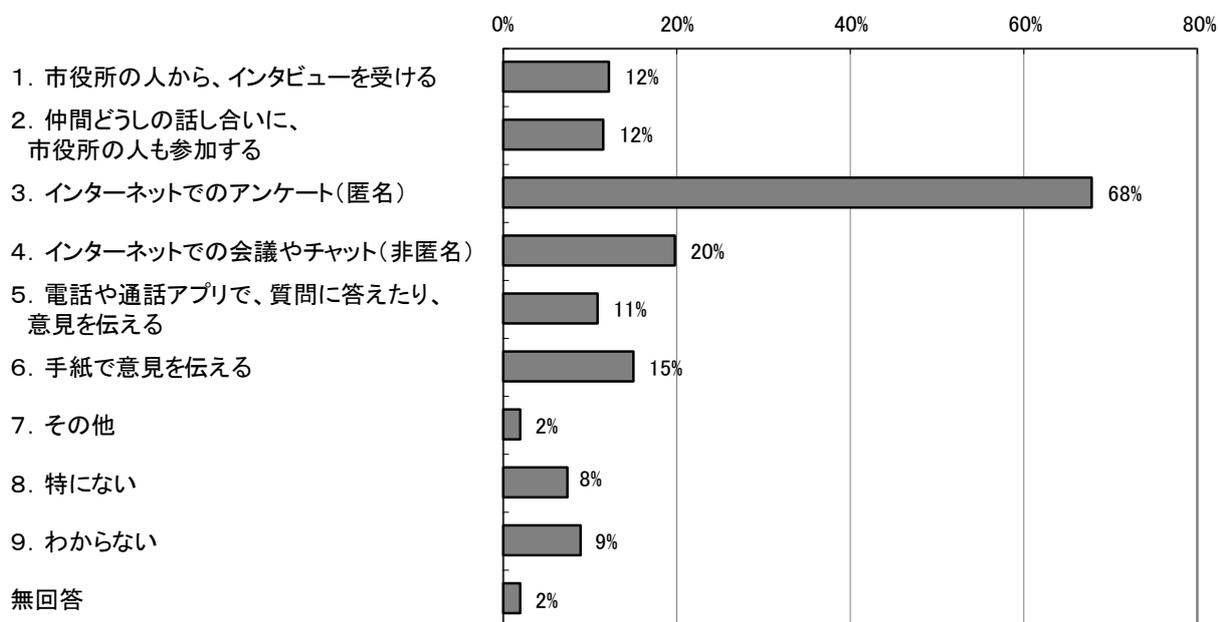
子ども・若者への支援について、市役所に取り組んでほしいことについては、「生活が苦しい子どもや家庭を支援する」が57%と最も割合が高く、次いで「子ども・若者がほっとできる居場所を充実する」、「若者が就職したり、働き続けられるよう取り組む」が42%と続きます。



市役所では、子どもたちや若者の意見をたくさんお聞きし、住みよい泉大津市にしていきたいと考えています。市役所がみなさんの意見をお聞きする時、みなさんが意見を伝えやすいと思う方法はどれですか。（あてはまる番号すべてに○）

【問 18】

	総計		高校生世代男性		高校生世代女性		成年世代男性		成年世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 市役所の人から、インタビューを受ける	18	12%	3	16%	2	7%	6	16%	5	9%
2. 仲間どうしの話し合いに、市役所の人も参加する	17	12%	2	11%	1	3%	9	24%	5	9%
3. インターネットでのアンケート（自分がだれかは伝えない）	99	68%	13	68%	18	60%	24	63%	43	80%
4. インターネットでの会議やチャット（自分がだれなのかは伝える）	29	20%	6	32%	3	10%	7	18%	12	22%
5. 電話や通話アプリで、質問に答えたり、意見を伝えたりする	16	11%	6	32%	0	0%	5	13%	5	9%
6. 手紙で意見を伝える	22	15%	1	5%	5	17%	7	18%	9	17%
7. その他	3	2%	0	0%	1	3%	0	0%	1	2%
8. 特にない	11	8%	2	11%	3	10%	2	5%	3	6%
9. わからない	13	9%	1	5%	5	17%	5	13%	1	2%
無回答	3	2%	0	0%	1	3%	1	3%	1	2%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

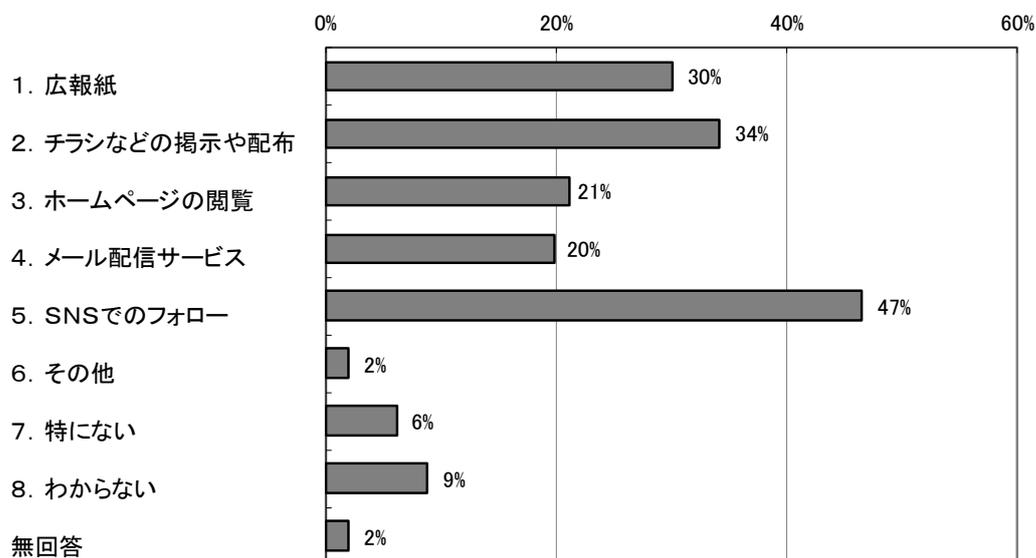


意見を伝えやすい方法は、「インターネットでのアンケート（自分がだれかは伝えない）」が68%と割合が高くなっています。

市役所など公的機関からのお知らせを、若い方々にお伝えする方法として、みなさんが情報を得やすいと思う方法はどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

【問 19】

	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 広報紙	44	30%	5	26%	7	23%	13	34%	17	31%
2. チラシなどの掲示や配布	50	34%	9	47%	6	20%	13	34%	20	37%
3. ホームページの閲覧	31	21%	5	26%	6	20%	11	29%	9	17%
4. メール配信サービス	29	20%	8	42%	3	10%	7	18%	11	20%
5. SNSでのフォロー	68	47%	9	47%	13	43%	19	50%	26	48%
6. その他	3	2%	1	5%	0	0%	1	3%	1	2%
7. 特にない	9	6%	2	11%	1	3%	2	5%	3	6%
8. わからない	13	9%	2	11%	4	13%	4	11%	2	4%
無回答	3	2%	0	1%	1	3%	1	3%	1	2%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%



公的な情報を得やすいと思う方法については、「SNSでのフォロー」が47%と最も割合が高くなっています。

7. 「こどもまんなか社会」への意識について

国では、こども・若者や、子育てをしている人が、どんな状況でも、自分らしく、将来にわたって幸せに生きていける社会、「こどもまんなか社会」をつくることを目指しています。こどもや若者に関する次の(1)～(11)について、あなたの認識に近いものをそれぞれの項目について教えてください。(それぞれ1つに○) 【問 20】

「こどもまんなか社会」に関する11項目を4段階尺度でたずねています。

《1. あなたの周りには、こどもや若者の遊びや体験活動の機会や場が十分にあると思う》

	総計		高校生世代男性		高校生世代女性		成年世代男性		成年世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	10	7%	1	5%	4	13%	3	8%	2	4%
どちらかというと思う	43	29%	7	37%	11	37%	6	16%	16	30%
どちらかというと思わない	48	33%	3	16%	10	33%	14	37%	21	39%
そう思わない	30	21%	5	26%	2	7%	11	29%	11	20%
わからない	15	10%	3	16%	3	10%	4	11%	4	7%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

《2. 学校は、こどもが安全に安心して過ごすことができる、こどもにとって大切な居場所の一つであると思う》

	総計		高校生世代男性		高校生世代女性		成年世代男性		成年世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	39	27%	7	37%	7	23%	11	29%	14	26%
どちらかというと思う	61	42%	8	42%	11	37%	14	37%	25	46%
どちらかというと思わない	22	15%	2	11%	7	23%	3	8%	10	19%
そう思わない	17	12%	1	5%	3	10%	7	18%	5	9%
わからない	7	5%	1	5%	2	7%	3	8%	0	0%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

「1. 遊びや体験活動の機会や場」は、否定的な回答が肯定的な回答を上回っています。

「2. 学校の安心・安全」は、肯定的な回答が否定的な回答を上回っています。

《3. こども・若者の心身の健康等についての情報提供やこころのケアが十分だと思おう》

	総計		高校生世代男性		高校生世代女性		成年世代男性		成年世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	37	25%	5	26%	7	23%	7	18%	18	33%
どちらかというと思う	41	28%	5	26%	12	40%	13	34%	10	19%
どちらかというと思わない	30	21%	4	21%	5	17%	3	8%	16	30%
そう思わない	18	12%	2	11%	2	7%	8	21%	5	9%
わからない	20	14%	3	16%	4	13%	7	18%	5	9%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

《4. 保護者の子育てが地域で支えられていると思う》

	総計		高校生世代男性		高校生世代女性		成年世代男性		成年世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	9	6%	1	5%	3	10%	2	5%	3	6%
どちらかというと思う	39	27%	8	42%	10	33%	8	21%	12	22%
どちらかというと思わない	29	20%	2	11%	5	17%	8	21%	13	24%
そう思わない	25	17%	4	21%	2	7%	8	21%	11	20%
わからない	44	30%	4	21%	10	33%	12	32%	15	28%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

《5. 保護者が、こどもの基本的な生活習慣や自立心等を育む教育を家庭で行うための支援がされていると思う》

	総計		高校生世代男性		高校生世代女性		成年世代男性		成年世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	9	6%	2	11%	3	10%	2	5%	2	4%
どちらかというと思う	37	25%	8	42%	9	30%	6	16%	12	22%
どちらかというと思わない	35	24%	1	5%	4	13%	11	29%	19	35%
そう思わない	22	15%	4	21%	4	13%	8	21%	6	11%
わからない	42	29%	4	21%	9	30%	11	29%	15	28%
無回答	1	1%	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

「3. こども・若者の健康の情報提供やケア」は、肯定的な回答が否定的な回答を上回っています。

「4. 地域子育て支援」は意見がわかれています。

「5. 家庭教育の支援」は高校生世代は肯定的な回答が否定的な回答を上回っている一方、成年世代では否定的な回答が肯定的な回答を上回っています。

《6. 社会において、共働き・共育て（家庭内で男女ともに仕事や家事、子育てに参画すること）が推進されていると思う》

	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	25	17%	2	11%	5	17%	5	13%	13	24%
どちらかというと思う	45	31%	9	47%	8	27%	13	34%	13	24%
どちらかというと思わない	33	23%	3	16%	7	23%	6	16%	17	31%
そう思わない	18	12%	3	16%	2	7%	7	18%	6	11%
わからない	24	16%	2	11%	7	23%	7	18%	5	9%
無回答	1	1%	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

《7. こども政策に関して自身の意見が聴いてもらえていると思う》

	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	8	5%	1	5%	2	7%	3	8%	2	4%
どちらかというと思う	14	10%	3	16%	4	13%	4	11%	3	6%
どちらかというと思わない	31	21%	4	21%	5	17%	6	16%	14	26%
そう思わない	35	24%	6	32%	4	13%	9	24%	15	28%
わからない	57	39%	5	26%	14	47%	16	42%	20	37%
無回答	1	1%	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

《8. こどもは権利の主体であると思う》

	総計		高校生 世代男性		高校生 世代女性		成年 世代男性		成年 世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	35	24%	2	11%	7	23%	9	24%	15	28%
どちらかというと思う	44	30%	9	47%	9	30%	9	24%	16	30%
どちらかというと思わない	20	14%	4	21%	3	10%	8	21%	5	9%
そう思わない	17	12%	1	5%	2	7%	5	13%	9	17%
わからない	29	20%	3	16%	8	27%	7	18%	9	17%
無回答	1	1%	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

「6. 男女共同参画の子育て」は、肯定的な回答が否定的な回答を上回っています。

「7. こども自身の意見の聴取」は、否定的な回答が肯定的な回答を上回っています。

「8. こどもを権利の主体ととらえる認識」は肯定的な回答が否定的な回答を上回っています。

《9. 障がいのある子ども・若者、発達に特性のある子ども・若者の地域社会への参加・包容（インクルージョン）が推進されている》

	総計		高校生世代男性		高校生世代女性		成年世代男性		成年世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	13	9%	0	0%	4	13%	2	5%	7	13%
どちらかというと思う	35	24%	10	53%	6	20%	9	24%	10	19%
どちらかというと思わない	30	21%	2	11%	6	20%	6	16%	14	26%
そう思わない	19	13%	3	16%	1	3%	7	18%	8	15%
わからない	48	33%	4	21%	12	40%	14	37%	15	28%
無回答	1	1%	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

《10. 日本の社会が、結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっていていると思う》

	総計		高校生世代男性		高校生世代女性		成年世代男性		成年世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	8	5%	1	5%	1	3%	3	8%	3	6%
どちらかというと思う	19	13%	3	16%	3	10%	5	13%	8	15%
どちらかというと思わない	38	26%	6	32%	9	30%	8	21%	14	26%
そう思わない	56	38%	7	37%	8	27%	18	47%	22	41%
わからない	24	16%	2	11%	8	27%	4	11%	7	13%
無回答	1	1%	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

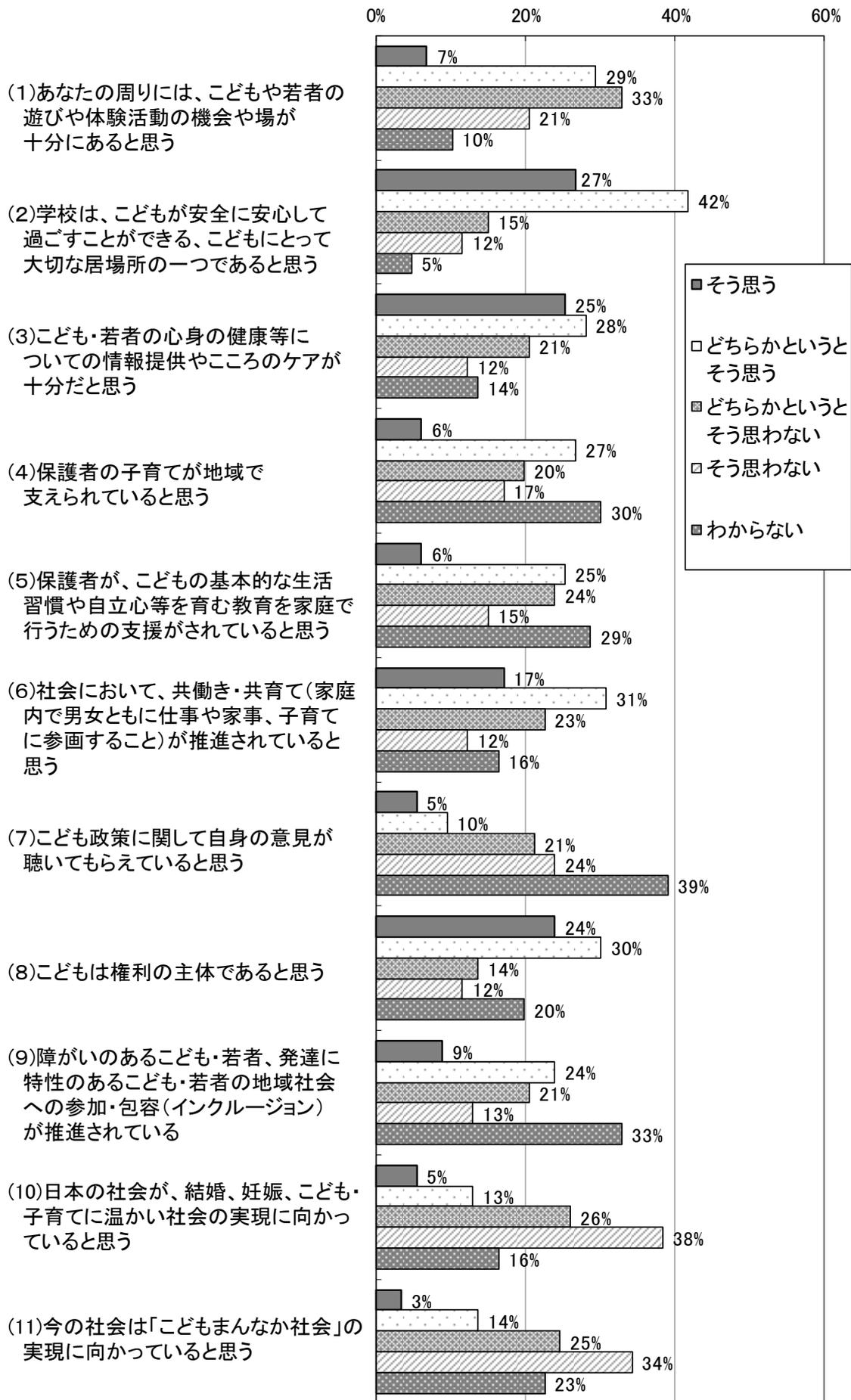
《11. 今の社会は「子どもまんなか社会」の実現に向かっていていると思う》

	総計		高校生世代男性		高校生世代女性		成年世代男性		成年世代女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
そう思う	5	3%	1	5%	0	0%	2	5%	2	4%
どちらかというと思う	20	14%	4	21%	1	3%	3	8%	11	20%
どちらかというと思わない	36	25%	7	37%	10	33%	8	21%	9	17%
そう思わない	50	34%	4	21%	7	23%	16	42%	22	41%
わからない	33	23%	3	16%	11	37%	9	24%	9	17%
無回答	2	1%	0	0%	1	3%	0	0%	1	2%
合計	146	100%	19	100%	30	100%	38	100%	54	100%

「9. 障がいのある子ども・若者のインクルージョンの現状」は意見がわかれています。

「10. 結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現性」は、否定的な回答が肯定的な回答を上回っています。

「11. 「子どもまんなか社会」の実現性」についても、否定的な回答が肯定的な回答を上回っています。



Ⅲ 自由意見

「こどもまんなか社会」など、子育てやこどもの育ちなどに関して、自由に意見をお書きください。 【問 21】

8件の回答内容を全文掲載します。

- ◇子どもの意見が反映されることは、とてもいいと感じるが、今のこどもまんなか社会はいい方向に向かうとは思えません。保護者、教員の立場が、低すぎると思います。子どもを制御できない保護者、子どもを正当な理由であっても叱れば 体罰・暴言などと言われてしまう状況をまず改善しないといけないと感じる。子どもも、体罰・暴言と言えればわがママが通ると思っていると感じます。
- ◇子育ては周りの協力がとても重要なので、少子化社会の今、気軽に助け合える環境が大切だと考える。
- ◇最初に言うが、長く書いたところで、私は、行政(特に国)がこの意見をきちんと真摯に受け止めてくれるとは思えない。きつい言葉かもしれないが、若者たちはそう思っていると思う。しかし、どうか変わってほしいと願いを込めて書きたいと思う。結局、子供中心と言うだけで、有権者として母数の多い高齢者を第一に考える政策が多く、特に子育て世代に対しての政策はその場しのぎのものばかりだと思う。ほんとうに子供たちを増やす気があるのかと甚だ疑問。本当に増やしたいなら、インターネットには、子育て世代が欲している支援について、その世代が声を上げているのがいくらでも転がっている。目を向けるべきはそこだと思う。小津中学校の取り組みなどを見ると、ここではこども中心社会ができてあがっているのを実感し、心からすごいと感じた。生徒たちが市役所に意見しに行ったなど聞いて、これができる小津っ子たちは、素晴らしいと感じる。ほか2つの中学校がどうかはわからないが、小津ならこどもたちの主体性を損なわず、育てていくことができると感じている。少しずつ、泉大津が子育て世代に対しての支援を充実させてくださっているのは、私たちの世代でも話にのぼるし、情報として手に入っている。私たちは、ちゃんと見えています。どうか、これからもその姿勢を崩さず、若者の意見を取り入れて市政を作っていくくださることを願っています。
- ◇中学校の学力は元々、泉大津市内の中学校の中で最下位と言われているのに、共創プロジェクトをするのは小津中学校の実態にそぐわないと思う。実態というのは、子供がやりたいことをなんでもやらせているということ。創造力を鍛えるより、まず基礎の授業をするべきだと思う。勉強したい人にとっては、普段の授業を大切にしたいし、はっきり言ってこのプロジェクトは無駄だと思う。するなら、その中学校ではなく、某教育大附属天王寺中学校で行うなど、先生がしたいようにするのではなく、生徒のことを考えて行動して欲しい。
- ◇私の家の周りでたまにたばこを吸ったり、夜中に爆竹で遊んだり、バイクにのって遊んでうるさい中学生ぐらいの人がいます。うるさいので学校でも注意してください。もし聞かなければ、警察に通報してください。
- ◇子どもは責任を持って親が育てろ。子育て中の親の支援に目を向けてほしい。

- ◇勉強せずに、呑気にいじめをしている奴をどうにかして欲しい。そういう人達は精神に問題のある異常な人だからカウンセラーとかやってあげて欲しい。幼稚園児に知育教育とかさせてあげて欲しい。幼小が応用力や学力を生成する最も大事な時期だから。
- ◇もっとかどもや、こどもを持つ親にお金を使って欲しい 他の市では子供を持つ家庭対象にお米券が配布されたりしているけど、泉大津市はそれがない。あと、わたしは最寄りが北助松だが、泉大津の市役所や消防車、病院は全部泉大津駅の方面に固まっているから、不便だ。ありがとうございました。

子ども・若者育成支援に関するアンケート調査

～ご協力をお願い～

この調査は、令和6年度に、泉大津市が「子ども・若者育成支援」に関する計画を作るために、高校生世代から24歳までの若者に、生活の状況や悩みなどについて、おうかがいするものです。回答は無記名であり、個人が特定されることはありません。

泉大津市役所では、若者世代の意見を聞き、未来にいかしていくことが大切だと考えています。みなさんからいただいたご意見をしっかり受け止め、必要な取り組みを進めたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

令和6年7月

泉大津市

スマートフォンなど、インターネット からご回答ください。

右の二次元コードを読み取り、回答フォームへアクセスし、設問にそって順番にご回答ください。

- ※ 問いを読んで、あてはまるものを選んで、最後まで進み、最後に「送信」のボタンを押してください。一度送信すると、その後の修正はできません。
- ※ ページが変わるとき、「次へ」という文字が出てきたら、次のページに進んでください。答えたくない問いは、とばしても、次の問いに進むことはできます。また、1ページずつ戻って書き直すことはできません。
- ※ 最後に自由意見記入欄もあります。所要時間の目安は約15分です。
- ※ 通信サービスの接続料金は回答者様の負担となります。
- ※ 回答を中断する場合は、そのまま画面を閉じてください。再度回答フォームへアクセスすると、続きから回答できます。



※ 下記 URL からのご回答いただけます。

<https://>

問6 現在、あなたと同居している方をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。(あてはまる番号すべてに○)

1. 父	2. 母
3. きょうだい	4. 祖父母
5. あなたの配偶者	6. あなたの子
7. その他の親族	8. その他 ()
9. 同居している人はいない (単身世帯)	

問7 現在の家庭の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. とてもゆとりがある	2. ややゆとりがある
3. ふつう	4. やや苦しい
5. とても苦しい	

ご自身の気持ちについて

問8 ご自身の気持ちに関する次の(1)～(10)について、それぞれ、どのくらいあてはまりますか。それぞれの項目について答えてください。(あてはまる番号すべてに○)

	あてはまる	どちらかといえ ば、あてはまる	どちらかといえ ば、あてはまらない	あてはまらない
(1)今の自分が好きだ	1	2	3	4
(2)今、自分は幸せだと感じる	1	2	3	4
(3)自分の将来についての人生設計(ライフプラン)について、よく考えたことがある	1	2	3	4
(4)今の生活が充実している	1	2	3	4
(5)自分の将来に明るい希望を持っている	1	2	3	4
(6)うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む	1	2	3	4
(7)社会のために役立つことをしたい	1	2	3	4
(8)自分は役に立たないと強く感じる	1	2	3	4
(9)孤独であると感じることがある	1	2	3	4
(10)学校で出会った友人(現在通っている学校の友人、かつての同窓生など)と、いつもつながりを感じている	1	2	3	4

問 11 あなたは、地域に、どんな居場所があったらいいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 友だちや親しい人と落ち着いて話せる場所
2. 安心して体を動かす遊びができる場所
3. Wi-Fi やパソコンが自由に使える場所
4. 自分ひとりで時間を過ごせる場所
5. お金を使わず、地域の人と出会える場所
6. 家庭や学校で言えないことを聞いてくれる大人がいる場所
7. その他()
8. 特にない

問 12 あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 仕事や学校で平日は毎日外出する
2. 仕事や学校で週に3～4日外出する
3. 遊び等で頻繁に外出する
4. 人づきあいのためにときどき外出する
5. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のみときだけ外出する
6. 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
7. 自室からは出るが、家からは出ない
8. 自室からほとんど出ない

} 問 12-1 へ

問 12 で「5.」～「8.」のいずれかに○をつけた方にかがいます。

問 12-1 あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------------------|------------------------|
| 1. 学校になじめなかったこと | 2. 小学校時代の不登校 |
| 3. 中学校時代の不登校 | 4. 高校時代の不登校 |
| 5. 大学(専門学校、短期大学等を含む)時代の
不登校 | 6. 受験に失敗したこと(高校・大学等) |
| 7. 就職活動がうまくいかなかったこと | 8. 職場になじめなかったこと |
| 9. 人間関係がうまくいかなかったこと | 10. 病気 |
| 11. 妊娠したこと | 12. 退職したこと |
| 13. 介護・看護を担うことになったこと | 14. 新型コロナウイルス感染症が流行したこ |
| 15. その他() | 16. 特に理由はない |
| 17. わからない | |

問 12-2 外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。(あてはまる番号すべてに○)

3か月未満	3か月～6か月未満
6か月～1年未満	1年～2年未満
2年～3年未満	3年～5年未満
5年～7年未満	7年～10年未満
10年以上	

生活の悩みの相談について

問 13 あなたは、今、どんなことに、どのくらい、悩んでいますか。((1)～(12)それぞれについて、○は1つずつ)

	とても悩んでいる	少し、悩んでいる	あまり、悩んでいない	まったく、悩んでいない
(1)勉強や仕事（社会人の方）のこと	1	2	3	4
(2)将来の進路のこと	1	2	3	4
(3)自分の外見（顔・体形など）のこと	1	2	3	4
(4)こころや体の健康のこと	1	2	3	4
(5)友だちづきあいのこと	1	2	3	4
(6)恋愛のこと	1	2	3	4
(7)学校や職場の人間関係のこと	1	2	3	4
(8)家族の健康のこと	1	2	3	4
(9)家族の仲が悪いこと	1	2	3	4
(10)家のお金のこと	1	2	3	4
(11)親が厳しいこと	1	2	3	4
(12)ネットでの人間関係のこと	1	2	3	4

問 15 で「16.」に○をつけた方にうかがいます。

問 15-1 相談したくないと思う理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 相談しても解決できないと思うから
2. 自分ひとりで解決するべきだと思うから
3. 誰にも知られたくないことだから
4. 自分が変な人に思われるのではないかと不安だから
5. 自分の欠点や失敗を悪く言われそうだから
6. 相手がどんな人かわからないから
7. 何を聞かれるか不安に思うから
8. 嫌なこと、できないことをするように言われそうだから
9. 相手にうまく伝えられないから
10. 裏切られたり、失望するのが嫌だから
11. お金がかかると思うから
12. その他 ()
13. 特に理由はない、わからない

ヤングケアラーについて

※「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているこどものことです。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。

「ヤングケアラー」の例



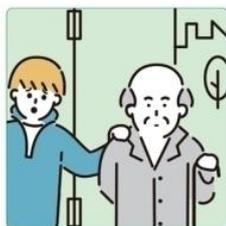
障害や病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障害や病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



日本語が第一言語でない家族や障害のある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障害や病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障害や病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障害や病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

問 16-4 世話をしているために、やりたいけどできないことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 学校や仕事に行きたくても行けない | 2. 学校や仕事を遅刻・早退してしまう |
| 3. 睡眠が十分に取れない | 4. 遊びや息抜きができない |
| 5. 習い事ができない、もしくは辞めた | 6. 好きなことにお金を使えない |
| 7. 希望する進路を選べない | 8. 自分の時間がとれない |
| 9. その他 () | 10. 特にない |

子ども・若者への支援について

問 17 あなたは、子ども・若者への支援について、市役所にどんなことに取り組んでほしいですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 子ども・若者が参加しやすいイベントなどの情報を提供する |
| 2. 子ども・若者が自分の意見を発表できる場を作る |
| 3. 子ども・若者が地域の活動に参加するきっかけを作る |
| 4. 子ども・若者がボランティア活動をできるように支援する |
| 5. 生活が苦しい子どもや家庭を支援する |
| 6. 子ども・若者が悩みごとや困りごとを相談できる窓口を充実する |
| 7. 虐待を受けている人、虐待を受けたことのある人を支援する |
| 8. 子ども・若者がほっとできる居場所を充実する |
| 9. 学校に行けない人、社会に出られない人が自立できるように支援する |
| 10. 学校の教育を充実する |
| 11. 子ども・若者の非行や犯罪の防止に取り組む |
| 12. 若者が就職したり、働き続けられるよう取り組む |
| 13. 結婚を考える若者が結婚できるように支援する |
| 14. その他 () |
| 15. 取り組んでほしいことは特にない |

問 18 市役所では、子どもたちや若者の意見をたくさんお聞きし、住みよい泉大津市にしていきたいと考えています。市役所がみなさんの意見をお聞きする時、みなさんが意見を伝えやすいと思う方法はどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 市役所の人から、インタビューを受ける
2. 仲間どうし話し合いに、市役所の人も参加する
3. インターネットでのアンケート(自分がだれかは伝えない)
4. インターネットでの会議やチャット(自分がだれなのかは伝える)
5. 電話や通話アプリで、質問に答えたり、意見を伝える
6. 手紙で意見を伝える
7. その他()
8. 特にない
9. わからない

問 19 市役所など公的機関からのお知らせを、若い方々にお伝えする方法として、みなさんが情報を得やすいと思う方法はどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 広報紙
2. チラシなどの掲示や配布
3. ホームページの閲覧
4. メール配信サービス
5. SNSでのフォロー(具体的に)
6. その他()
7. 特にない
8. わからない

「こどもまんなか社会」への意識について

問 20 国では、こども・若者や、子育てをしている人が、どんな状況でも、自分らしく、将来にわたって幸せに生きていける社会、「こどもまんなか社会」をつくることを目指しています。こどもや若者に関する次の(1)～(11)について、あなたの認識に近いものをそれぞれの項目について教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

	そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そう思わない	そう思わない	わからない
(1)あなたの周りには、こどもや若者の遊びや体験活動の機会や場が十分にあると思う	1	2	3	4	5
(2)学校は、こどもが安全に安心して過ごすことができる、こどもにとって大切な居場所の一つであると思う	1	2	3	4	5
(3)こども・若者の心身の健康等についての情報提供やこころのケアが十分だと思う	1	2	3	4	5
(4)保護者の子育てが地域で支えられていると思う	1	2	3	4	5
(5)保護者が、こどもの基本的な生活習慣や自立心等を育む教育を家庭で行うための支援がされていると思う	1	2	3	4	5
(6)社会において、共働き・共育て（家庭内で男女ともに仕事や家事、子育てに参画すること）が推進されていると思う	1	2	3	4	5
(7)こども政策に関して自身の意見が聴いてもらえていると思う	1	2	3	4	5
(8)こどもは権利の主体であると思う	1	2	3	4	5
(9)障害のあるこども・若者、発達に特性のあるこども・若者の地域社会への参加・包容（インクルージョン）が推進されている	1	2	3	4	5
(10)日本の社会が、結婚、妊娠、こども・子育てに温かい社会の実現に向かっていると思う	1	2	3	4	5
(11)今の社会は「こどもまんなか社会」の実現に向かっていると思う	1	2	3	4	5

問 21 「こどもまんなか社会」など、子育てやこどもの育ちなどに関して、自由に意見をお書きください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

つらいことがあったとき、一人で悩まず、相談してください。

○「ヤングケアラー」などの悩みについては

下記の泉大津市のホームページで相談先を紹介しています

<https://www.city.izumiotsu.lg.jp/kakuka/kenko/kodomoseisaku/tantougyoumu/12054.html>

○18 歳未満の方の家庭での悩みについては

大阪府 子ども専用子どもの悩み相談フリーダイヤル 電話 0120-7285-25

○友人関係など学校での悩みについては

泉大津市 心の相談ホットライン 電話 0725-26-0005

大阪府 すこやかホットライン 電話 06-6607-7361

○経済的な悩みについては

泉大津市 市民生活応援窓口(生活困窮者自立支援制度) 電話 0725-33-9254